

**帯広市立小中学校
適正規模の確保等に関する計画
(後期計画)
(原案)**

令和 年 月

帯広市教育委員会

目 次

1	計画策定の趣旨等	1
(1)	背景	1
(2)	目指す教育の姿	1
(3)	本計画の位置付け	1
(4)	計画の期間	2
2	児童生徒数等の将来推計	
(1)	児童生徒数等の推計方法	3
(2)	今後の児童生徒数の推移	4
(3)	学校別児童生徒数及び学級数の将来推計	5
3	前期計画期間の取り組み	
(1)	大空学園義務教育学校の開校	7
(2)	小規模交流授業の実施	7
(3)	教育に関する意識調査の実施	7
4	適正規模の確保等に関する取り組み	
(1)	学校の配置状況	8
(2)	取り組みの進め方	9
5	適正規模の確保等に関する取り組みにあたっての留意事項	
(1)	地域協議に向けた基本姿勢	13
(2)	より良い教育環境の整備	13
(3)	旧学校施設の活用方法	14
資料編		
資料1	学校別児童生徒数及び学校規模（学級数）の将来推計	17
資料2	地区（地域）ごとのカルテ	22
1	東地区	
2	鉄南地区	
3	川北地区	

4	西地区	
5	西帯広地区	
6	南地区	
7	農村地域	
資料3	意見交換会等の開催状況と主な意見	54
資料4	教育に関する意識調査結果の概要（抜粋版）	58

1 計画策定の趣旨等

(1) 背景

少子化の進行による将来の児童生徒数の減少がもたらす影響が懸念される中、本市教育委員会では、平成28年9月に帯広市立小中学校適正規模・適正配置市民検討委員会から受けた『帯広市立小中学校の学校規模等に関する報告書』の内容を最大限に尊重しつつ、子どもたち一人ひとりの資質や能力を十分に伸ばしていくことのできるより良い教育環境を目指し、平成29年2月に『帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本方針』（以下「基本方針」という。）を策定しました。

基本方針は、小中学校の適正規模の確保等に関する取り組みの基本的な考え方を示したものであり、この基本方針に基づいて平成30年4月に『帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画』（以下「全体計画」という。）を策定しました。全体計画を前期計画と後期計画に区分し、前期計画（平成30年度～令和4年度）では大空中学校を対象校に選定し、取り組みを進めてきましたが、この度、後期計画期間を迎えるにあたり、令和9年度までの期間で具体的な取り組みを推進していくこととします。

(2) 目指す教育の姿

急速な技術革新やグローバル化の進展など社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、義務教育においては、小学校と中学校の9年間を通じて系統的な教育を行う小中一貫教育の推進の他、ICTなどを活用したきめ細やかな指導体制の整備による「個別最適な学び」や「協働的な学び」など「令和の日本型学校教育」の実現に向け、教育環境が大きく変化してきており、児童生徒が自分自身の良さや可能性を認識し、主体的に課題に向き合い多様な人々と協働し、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。

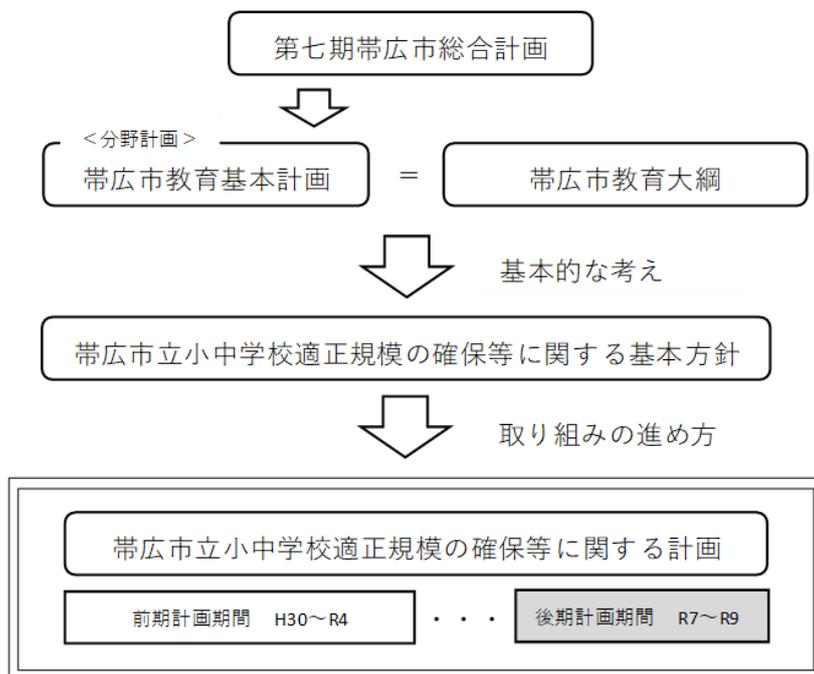
本市教育委員会では、帯広市教育基本計画の基本理念である「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」を実現するため、学校教育分野においては「夢の実現に向けて自立し互いに支え合う人づくり」を基本目標に掲げ、教育施策を進めています。

こうしたことを踏まえて、地域全体で子どもたちの健やかな成長を支える考え方を保護者や地域住民と共有し、相互に協力しながら、新しい時代を切り拓く人づくり・地域づくりをはかるため、本計画に基づきより良い教育環境の整備を進めてまいります。

(3) 本計画の位置付け

全体計画は、基本方針に基づいて、適正規模の確保等に関する取り組みの進め方を示すもので、本計画は後期計画（令和7～9年度）の取り組みを示すものとし、なお、個別の学

校に関わる具体的な取り組み内容については、保護者、地域住民、学校関係者などで構成する地域検討委員会からの意見等をもとに別途策定する実施計画に基づいて進めます。



(4) 計画の期間

全体計画の期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間としており、当初は計画期間を前期計画期間（平成30年度～令和4年度）と後期計画期間（令和5年度～令和9年度）に区分していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、計画の取り組みが見送られてきたため、後期計画は計画策定時（令和7年度）から令和9年度までの取り組みについて示すものとします。

2 児童生徒数等の将来推計

本計画において、適正規模の確保等を検討するための基礎資料として、令和7年度から令和16年度までの10年間の小中学校の児童生徒数及び学級数を、下記の条件及び方法により推計しました。

(1) 児童生徒数等の推計方法

本計画の児童生徒数の推計にあたっては、以下の条件の下、「コーホート変化率法」(※)を用いて推計を行いました。

農村地域については、コーホート変化率法を用いず、5月1日現在に各小学校に就学している児童生徒の人数と、同じく5月1日現在で住民登録されている未就学児が次年度以降もそのままその校区で新学年に進む単純進行による推計とし、また、新生児は、推計方法に関わらず年齢別出生率をその校区に居住している15歳から49歳までの年齢別の女性の人口ごとに乗じて合算し推計しました。なお、川西小・川西中学校区は、大規模な宅地開発が行われたことから、コーホート変化率法と単純進行による推計を併用して算出しています。

※コーホート変化率法

…基準となる年における年齢別実績人口をもとに、その基準年から一定期間の年齢別の人口動態を「変化率」として求め、それに基づき将来人口を推計する方法であり、比較的近い将来人口の推計に用いられるもの。

<推計方法の考え方>

- ・令和6年5月1日現在の学校基本調査による児童生徒数を基礎として算出。
- ・コーホート変化率法では、令和元年度から令和5年度までの学校区ごとの住民基本台帳人口の1歳刻みの変化率を使用して算出。
- ・推計期間中の出生数については、推計方法に関わらず、帯広保健所が直近で公表している本市の15歳から49歳までの女性の年齢別の出生率とそれぞれに該当する年齢別の女性の人口を乗じて推計値を算出。
- ・清流地区などの大規模な宅地開発に伴う児童生徒数の増加を加味して算出。

<特別支援学級に在籍する児童生徒数>

- ・令和6年5月1日時点で特別支援学級に在籍している児童生徒は、単純進行で特別支援学級に在籍するものとして算出。
- ・小学校の新入生は、本市全体の児童生徒数に占める特別支援学級に在籍する令和6年5月1日の児童数の割合を乗じて算出。

<学級編制>

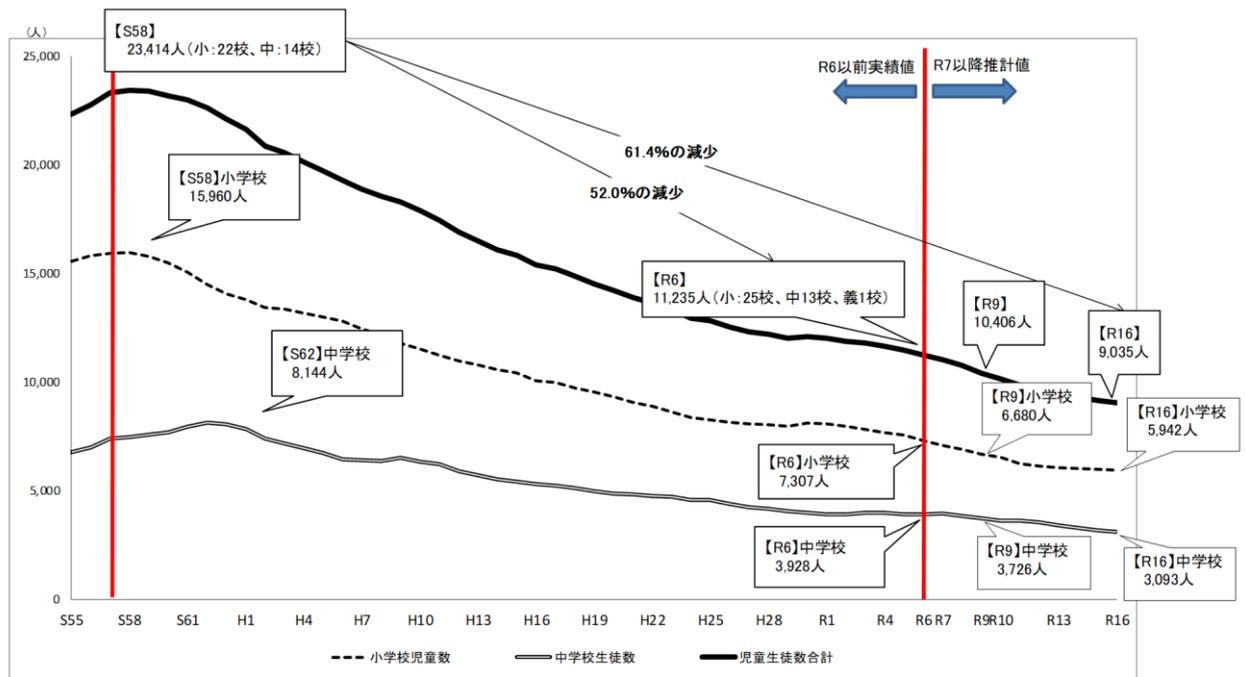
- ・通常学級1学級あたりの児童生徒数は、現行の北海道教育委員会の義務教育諸学校学級編制基準規則で定める人数（小学校第1～5学年は35人、中学校第2～3学年は40人）及び少人数学級実践研究事業による人数（小学校第6学年は35人、中学校第1学年は2学級以上で1学級あたり35人）に基づき算出。
- ・複式学級は、小学校において連続する二つの学年で16人（第1学年を含む場合は8人）以下の場合及び中学校において連続する二つの学年で8人以下の場合、複式学級として算出。
- ・特別支援学級は、障害の種別ごとに8人編制で算出。

※義務教育学校については、前期課程は小学校、後期課程は中学校の基準を用いる。

(2) 今後の児童生徒数の推移

計画期間の最終年である令和9年度には令和6年度対比で、小学校及び義務教育学校前期課程の児童数で627人（△8.6%）、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒数202人（△5.1%）の減少が見込まれます。また、推計を行った期間の最終年である令和16年度には、令和6年度対比で、小学校及び義務教育学校前期課程の児童数で1,365人（△18.7%）、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒数で835人（△21.3%）の減少が見込まれます。

◆児童生徒数の推移及び将来推計



※各年度の5月1日現在の児童生徒数により作成し、令和7年度以降については推計値で作成。

※令和4年度に開校した大空学園義務教育学校については前期課程を小学校、後期課程を中学校の人数にそれぞれ合算

(3) 学校別児童生徒数及び学級数の将来推計

各小中学校及び義務教育学校の計画期間中の児童生徒数等の推計は、以下のとおりです。全体的に学校の小規模化が進んでいくものと見込まれます。

【小学校】

区分	令和6年度（実績値）				令和7年度（推計値）				令和9年度（推計値）				令和16年度（推計値）			
	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
帯広小	190	11	7	4	174	11	7	4	163	11	7	4	180	10	6	4
西小	157	10	6	4	156	10	6	4	157	10	6	4	136	9	6	3
柏小	382	20	13	7	360	18	12	6	347	18	12	6	269	16	11	5
明星小	363	18	12	6	359	19	12	7	332	19	12	7	316	19	12	7
緑丘小	465	24	14	10	454	23	14	9	403	20	12	8	356	19	12	7
北栄小	304	19	12	7	280	18	12	6	261	15	10	5	235	14	10	4
光南小	340	18	12	6	340	18	12	6	337	18	12	6	318	18	12	6
東小	198	10	6	4	199	11	7	4	195	10	6	4	175	10	6	4
啓西小	342	19	12	7	341	18	12	6	273	15	10	5	271	15	10	5
稲田小	547	26	18	8	512	25	17	8	488	23	15	8	492	25	16	9
豊成小	598	28	19	9	588	28	19	9	523	25	16	9	427	21	13	8
大空学園（前期）	332	20	12	8	334	20	12	8	325	18	11	7	339	18	11	7
栄小	329	18	12	6	323	18	12	6	316	19	12	7	292	18	12	6
若葉小	511	25	15	10	494	24	15	9	456	20	13	7	402	20	12	8
広陽小	344	20	12	8	334	20	12	8	370	20	12	8	324	19	12	7
花園小	178	10	6	4	177	10	6	4	175	10	6	4	166	10	6	4
啓北小	350	18	12	6	342	19	12	7	317	18	12	6	221	12	8	4
關西小	224	13	9	4	216	13	9	4	213	13	9	4	145	9	6	3
明和小	253	15	10	5	235	13	8	5	228	12	7	5	229	11	7	4
森の里小	233	16	9	7	224	15	8	7	199	11	6	5	192	10	6	4
つじが丘小	228	14	7	7	216	14	7	7	199	12	6	6	156	9	6	3
川西小	227	13	7	6	216	12	6	6	223	13	7	6	177	10	6	4
清川小	41	5	4	1	38	4	3	1	34	5	4	1	28	4	3	1
広野小	29	6	4	2	26	5	3	2	28	5	3	2	13	3	3	0
大正小	119	9	6	3	114	9	6	3	101	9	6	3	64	7	6	1
愛國小	23	4	3	1	23	4	3	1	17	3	3	0	19	3	3	0
計	7,307	409	259	150	7,075	399	252	147	6,680	372	235	137	5,942	339	221	118

区分	令和6年度（実績値）		令和7年度（推計値）		令和9年度（推計値）		令和16年度（推計値）		
	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	
通常学級	1～5学級	0	3	0	3	0	3	0	3
	6～11学級	8	2	8	2	11	2	13	2
	12～18学級	12	0	12	0	10	0	8	0
	19～24学級	1	0	1	0	0	0	0	0

【中学校】

区分	令和6年度（実績値）				令和7年度（推計値）				令和9年度（推計値）				令和16年度（推計値）			
	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
第一中	463	19	13	6	464	20	13	7	438	17	11	6	319	14	9	5
第二中	227	12	7	5	207	10	6	4	192	9	6	3	154	8	5	3
第四中	337	16	10	6	306	15	9	6	309	14	9	5	284	13	9	4
第五中	322	14	9	5	319	14	9	5	323	14	9	5	214	9	6	3
第八中	438	20	13	7	448	18	12	6	402	17	11	6	328	14	9	5
大空学園（後期）	160	9	6	3	160	9	6	3	159	9	6	3	155	8	5	3
南町中	630	23	16	7	662	25	18	7	617	26	17	9	532	22	15	7
西陵中	375	16	10	6	383	16	10	6	350	15	9	6	302	14	9	5
緑園中	283	14	9	5	274	13	8	5	232	10	6	4	182	9	6	3
翔陽中	476	21	13	8	497	21	13	8	475	19	12	7	444	18	12	6
川西中	95	5	3	2	113	6	4	2	119	7	4	3	100	5	3	2
清川中	37	5	3	2	31	5	3	2	24	4	3	1	18	4	3	1
八千代中	16	3	2	1	11	3	2	1	12	2	2	0	13	2	2	0
第七中	69	5	3	2	74	5	3	2	74	5	3	2	48	4	3	1
計	3,928	182	117	65	3,949	180	116	64	3,726	168	108	60	3,093	144	96	48

区分	令和6年度（実績値）		令和7年度（推計値）		令和9年度（推計値）		令和16年度（推計値）	
	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校
通常学級	1～2学級	0	1	0	1	0	1	0
	3～5学級	0	3	0	3	0	3	2
	6～8学級	2	0	3	0	3	0	2
	9～11学級	4	0	3	0	5	0	4
	12～18学級	4	0	4	0	2	0	2

区分	令和6年度（実績値）				令和7年度（推計値）				令和9年度（推計値）				令和16年度（推計値）			
	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
小中学校合計	11,235	591	376	215	11,024	579	368	211	10,406	540	343	197	9,035	483	317	166

3 前期計画期間の取り組み

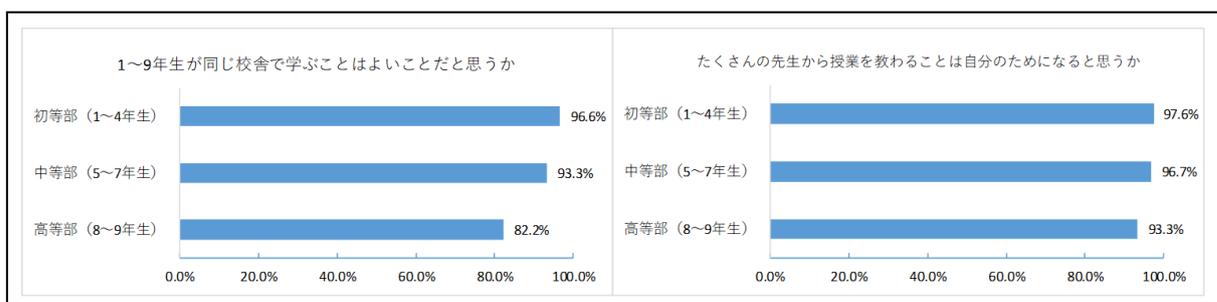
(1) 大空学園義務教育学校の開校

前期計画では市街地で最も小規模化が見込まれる大空中学校を対象校に選定し、近隣の大空小学校と統合して帯広市内では初となる施設一体型の義務教育学校を令和4年に開校しました。

小学校1年生から中学校3年生までが同一校舎で過ごし、すべての学年が各種行事等を合同で実施しています。小学校と中学校が一体となった児童・生徒の様子も見られ、毎年2回児童・生徒、保護者、教職員を対象に実施している学校評価アンケートにおいても高い評価を受けています。

◆大空学園学校評価アンケート「グラウンドデザインに基づく学校評価」より抜粋（令和6年7月）。

「よく当てはまる」「おおむね当てはまる」と回答した割合



(2) 小規模交流授業の実施

児童生徒推計で前期計画期間最終年度の令和4年度に「検討が必要な学校」（6学級以下の小学校、6学級未満の中学校、複式学級となる農村部の小中学校を対象に近隣校との交流授業（ICTを活用した総合学習や合同での体育の授業等）を実施しました。

(3) 教育に関する意識調査の実施

今後の学校教育の推進のための基礎資料とするために、令和5年度に小学校5年生及び中学校2年生の児童生徒及びその保護者を対象にアンケートを実施しました。

◆アンケート結果（抜粋）

小中学校の一学年あたりの学級数ほどの程度がよいと考えますか。				小中学校の一学級あたりの児童生徒数ほどの程度がよいと考えますか。			
回答選択肢	小学生	中学生	保護者	回答選択肢	小学生	中学生	保護者
①多い方がいい(5学級以上)	8.4%	5.6%	5.7%	①40人程度	18.1%	10.1%	1.9%
②極端に多くなければいい(3~4学級)	26.3%	50.4%	52.9%	②30人程度	52.8%	68.1%	71.3%
③クラス替えができればいい(2学級)	36.9%	24.4%	30.6%	③20人程度	23.3%	18.0%	25.9%
④1学級がいい	22.9%	14.7%	7.2%	④10人程度	5.8%	3.8%	0.9%
⑤複式学級でもいい	5.5%	4.9%	3.6%	計	100.0%	100.0%	100.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%				

4 適正規模の確保等に関する取り組み

(1) 学校の配置状況

市内の小中学校は、現在小学校25校、中学校13校、義務教育学校1校あり、その配置は下図のとおりです。

(地区の境界線は、地区に属する中学校の通学区域を合わせたものです。)

【市街地】 小学校20校 中学校9校 義務教育学校1校



凡例
 ● 中学校
 ○ 小学校
 □ は、複数の中学校に分かれて進学する小学校

【農村地域】 小学校5校 中学校4校



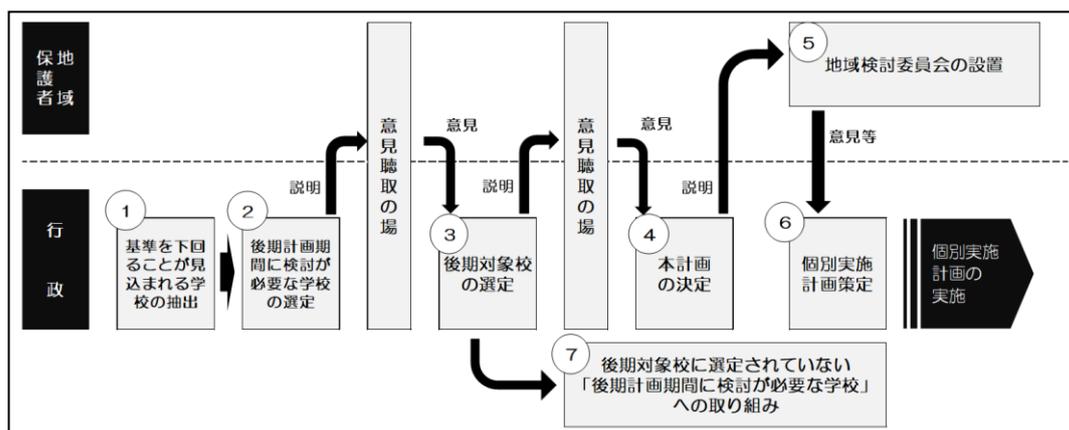
農村地域では小学校と中学校の通学区域が一致していますが、市街地では、複数の中学校に分かれて進学する小学校が6校あります。

(2) 取り組みの進め方

小規模校は、一人ひとりに目が届き、きめ細かな指導を行いやすいなどのメリットがある一方で、学校規模に起因する人間関係の固定化や集団活動の制約などのデメリットがあります。それらのデメリットを緩和するため、学校における様々な教育方法の工夫や地域による支援の取り組みが行われています。

そうした状況を考慮して、学校の適正規模の確保等に関する取り組みは、基本方針で定めた「適正な学校規模の基準」を今後も下回ることが見込まれる小規模校について、単に児童生徒数だけを根拠に全ての学校を一律に進めるのではなく、優先度を踏まえた上で計画的に進めるために、教育環境に与える影響や近隣校の状況、保護者や地域住民の意見等を考慮し、早期に取り組むべき学校の選定を行うものです。

よって、適正規模の確保等に関する取り組みは、基本的に次の手順により対象校を選定した上で実施します。なお、ここでは、「後期対象校」選定までの取り組みとその後の取り組みまでの全ての工程を記述しています。



① 「適正な学校規模の基準」を下回ることが見込まれる学校の抽出

「2(3) 学校別児童生徒数及び学級数の将来推計」で示した児童生徒数等の推計値と、基本方針で定めた下欄の「適正な学校規模の基準」(以下「基準」という。)を照らし合わせ、後期計画期間終了年度である令和9年度時点で基準を下回ることが見込まれる全ての学校を抽出します。

◆適正な学校規模の基準

小学校	通常学級12学級～24学級に、特別支援学級を加えた学級数
中学校	通常学級 9学級～18学級に、特別支援学級を加えた学級数
農村地域の 小中学校	通常学級1学年1学級以上に、特別支援学級を加えた学級数

※義務教育学校前期課程は小学校、後期課程は中学校の基準を用いる。

今回の推計において、上記基準を下回ることが見込まれる学校は次のとおりです。

小学校	帯広小、西小、北栄小、東小、啓西小、花園小、開西小、明和小、森の里小、つつじが丘小
中学校	第二中、緑園中
農村地域の 小中学校	清川小、広野小、愛國小、八千代中

※大空学園（前期・後期）は前期計画期間で取り組みを実施したため除く。

◆各学校の通常学級数の推計と基準を下回ることが見込まれる学校

学校名	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (推計値)	令和8年度 (推計値)	令和9年度 (推計値)	令和9年度において 基準を下回ることが 見込まれる学校	
市 街 地	帯広小	7	7	7	7	○
	西小	6	6	6	6	○
	柏小	13	12	12	12	
	明星小	12	12	12	12	
	緑丘小	14	14	13	12	
	北栄小	12	12	11	10	○
	光南小	12	12	12	12	
	東小	6	7	7	6	○
	啓西小	12	12	11	10	○
	稲田小	18	17	16	15	
	豊成小	19	19	18	16	
	大空学園（前期）	12	12	12	11	
	栄小	12	12	12	12	
	若葉小	15	15	14	13	
	広陽小	12	12	12	12	
	花園小	6	6	6	6	○
	啓北小	12	12	12	12	
	開西小	9	9	9	9	○
	明和小	10	8	7	7	○
森の里小	9	8	7	6	○	
つつじが丘小	7	7	6	6	○	
農 村 地 域	川西小	7	6	7	7	
	清川小	4	3	3	4	○
	広野小	4	3	3	3	○
	大正小	6	6	6	6	
	愛國小	3	3	3	3	○
市 街 地	第一中	13	13	12	11	
	第二中	7	6	6	6	○
	第四中	10	9	9	9	
	第五中	9	9	10	9	
	第八中	13	12	12	11	
	大空学園（後期）	6	6	6	6	
	南町中	16	18	16	17	
	西陵中	10	10	10	9	
	緑園中	9	8	7	6	○
翔陽中	13	13	12	12		
農 村 地 域	川西中	3	4	4	4	
	清川中	3	3	3	3	
	八千代中	2	2	2	2	○
	第七中	3	3	3	3	

※大空学園（前期・後期）は前期計画期間で取り組みを実施したため除く。

②「後期計画期間に検討が必要な学校」の選定

児童生徒の減少、学校の小規模化が進む中で、できる限り小規模校、大規模校の両方のメリットが生かされるような学校規模とすることが、より良い教育環境の構築につながります。

一般的には学校規模が小さくなるほど、人間関係の固定化、運動会や部活動など学校行事や集団活動の制約、さらには教員配置数の減少など、小規模校のデメリットがより一層顕著になるものと考えられます。

このため、①で抽出した基準を下回ることが見込まれる学校のうち、令和9年度時点で、全ての学年でクラス替ができない通常学級6学級以下の小学校及びクラス替ができない学年が生じる通常学級6学級未満の中学校であり、その後も同じ傾向で推移する学校を「後期計画期間に検討が必要な学校」とします。

また、農村地域では、1学年1学級を下回ることが見込まれる複式学級となる見込みの小中学校を「後期計画期間に検討が必要な学校」とします。

小学校	西小、東小、花園小、森の里小、つつじが丘小、清川小、広野小、愛国小
中学校	八千代中

③「後期対象校」の選定

学校は、児童生徒の教育の場であるとともに、地域活動、防災、スポーツ・文化の活動の場など地域コミュニティに関わる役割も併せて有しています。そのため、「後期対象校」の選定にあたっては、保護者はもとより地域住民と課題認識を共有し、取り組みへの理解を得る必要があることから、②で選定した「後期計画期間に検討が必要な学校」を対象とした保護者や地域住民との意見交換会を実施しました。

意見交換会（※）では、一定規模の集団の中で学ぶことの必要性について理解を示す一方で、学校を存続して小規模校のメリットを活かした教育を行なうべきとの意見も多く寄せられ、これらの意見や学校を取り巻く教育環境などを十分加味し検討した結果、教育委員会は、後期計画期間に具体的な取り組みを進める「後期対象校」を次のとおり選定することとします。

※令和7年度にも意見交換会を実施の上、後期対象校を選定します。

後期対象校	(計画案の段階で記載)
選定理由	(計画案の段階で記載)

④本計画の決定

選定された「後期対象校」の保護者や地域住民に、意見交換の場において「後期対象校」に関する説明を行います。いただいた保護者や地域住民からの意見についても勘案した上で、本計画を決定します。

⑤地域検討委員会の設置

④において成案となった本計画について、保護者、地域住民、学校関係者などで構成する地域検討委員会を設置し、当該校の適正規模の確保等に関する取り組みについて協議し、教育委員会に意見等を提出していただきます。

⑥個別実施計画の策定・実施

教育委員会は、地域検討委員会からいただいた意見等をもとに、当該校の適正規模の確保等に関する取り組みに向けた具体的な取り組みを個別実施計画としてまとめます。個別実施計画の推進にあたっては、保護者や地域住民の意見もいただきながら進めます。

⑦「後期対象校」に選定されていない「後期計画期間に検討が必要な学校」への取り組み

対象校以外の学校についても、児童生徒数の減少が進むと見込まれるため、近隣校との交流などを通じて、児童生徒がより多くの仲間との学び合い等を経験するなど、学校の小規模化による影響の緩和に努めるとともに、今後の取り組みの推進に向け、保護者や地域住民への情報提供や意見交換などを行います。

5 適正規模の確保等に関する取り組みにあたっての留意事項

(1) 地域協議に向けた基本姿勢

ア 保護者等への配慮

取り組みは、行政だけで進めるのではなく、保護者等に情報提供や丁寧な説明を行い、目指す教育の姿や課題を共有し、その意見を尊重して検討していく必要があります。取り組みを進めるにあたっては、行政の考え方を説明する機会、保護者や地域住民の意見を聴く機会をより多く設けます。

イ 通学の安全確保と負担軽減

通学における児童生徒の安全確保や負担を軽減することが不可欠であり、やむを得ず遠距離通学となる場合、教育委員会は、交通機関等の通学手段を講じることを含めて検討します。

ウ 地域コミュニティへの配慮

学校は、児童生徒の教育施設であるだけでなく、その地域に暮らす住民にとって災害時の避難所や選挙の投票所、地域の交流の場など、地域の拠点施設としての機能も有しています。

また、児童生徒は、地域における見守り活動やあいさつ運動などを通じて、地域の中で育まれています。

取り組みを進めるにあたっては、こうした「地域とともにある学校づくり」にも配慮して進めます。

エ 情報の提供

学校の適正規模の確保等に関する取り組みの情報は、今後とも対象校の保護者や地域住民はもとより、広く市民に対して積極的な情報の提供に努め、情報を共有しながら取り組みを進めます。

(2) より良い教育環境の整備

ア 通学区域の見直し

小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保等に関する取り組みと合わせ、通学距離、幹線道路、河川等の地路的条件や地域コミュニティとの整合性や一つの小学校から複数の中学校に分かれた進学の解消などに配慮し、通学区域の見直しを進めます。

イ 学校の統合の検討

将来とも児童生徒の増加が見込めず、小規模化の解消を図ることができない学校にあっては、近隣校との統合についても検討します。

統合を進める場合、対象校の教育環境については、統合が実施されるまでの間も良質な環境が維持されるよう引き続き学校施設の整備などに配慮します。また、統合による新校への円滑な移行のため、対象校間での事前交流、統合後の継続的な人員配置についても配慮し、新校への移行がスムーズに行われるよう進めます。

ウ 小規模特認校の指定拡大の検討

農村地域で特色ある教育を実践する学校への通学区域外からの入学を認める小規模特認校制度を充実させることが、恵まれた教育環境を生かした児童の学力向上等に資するだけでなく、農村地域の学校における児童数の確保の可能性を広げるものと考えことから、小中学校のつながりも含めて小規模特認校の指定拡大を検討します。

エ 小中一貫教育の推進

本市では、平成31年2月に策定した『帯広市小中一貫教育推進基本方針』に基づき、これまで取り組んできたエリア・ファミリー構想を基盤として、これを段階的に発展させ、各エリアの実情に応じた小中一貫教育の推進を図り、義務教育の9年間を通じた連続的・継続的な教育に取り組んでいます。小規模化の影響を緩和するための方策の一つとして、小中一貫教育の取り組みについても配慮して進めます。

オ 学校施設の長寿命化計画との調整

平成31年2月に策定した「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するにあたっては、適正規模の確保等に関する取り組みとの調整を図りながら進めます。また、これらの取り組みには、一定の期間を要することから、その間においても良質な環境が維持されるよう学校施設の整備などに配慮します。

カ 小規模校を対象とした交流の促進

人間関係の固定化や集団活動の制約など、小規模化の影響を緩和するための方策の一つとして、平成30年から近隣校の交流授業を実施しています。ICTなども活用して、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れる機会や学び合いの機会を提供します。

(3) 旧学校施設の活用方法

統合等により学校として使用しなくなる施設や土地については、地域の意見にも配慮しつつ、幅広く有効な活用方法を検討します。

<資料編>

学校別児童生徒数及び学校規模（学級数）の将来推計

資料 1

小学校

(単位：人・学級)

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
帯広小	児童数	190	174	163	163	172	162	162	175	175	175	180
	うち通常学級児童数	168	151	139	138	149	140	140	151	152	151	156
	うち特別支援児童数	22	23	24	25	23	22	22	24	23	24	24
	学級数	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西小	児童数	157	156	159	157	156	148	162	156	150	138	136
	うち通常学級児童数	127	127	134	131	130	127	140	135	130	119	117
	うち特別支援児童数	30	29	25	26	26	21	22	21	20	19	19
	学級数	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
柏小	児童数	382	360	366	347	328	305	298	286	268	268	269
	うち通常学級児童数	346	322	329	307	289	269	261	250	235	235	236
	うち特別支援児童数	36	38	37	40	39	36	37	36	33	33	33
	学級数	20	18	18	18	18	17	16	16	16	16	16
	うち通常学級数	13	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11
	うち特別支援学級数	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	
明星小	児童数	363	359	338	332	329	313	326	322	328	330	316
	うち通常学級児童数	321	312	294	290	290	273	284	279	283	285	273
	うち特別支援児童数	42	47	44	42	39	40	42	43	45	45	43
	学級数	18	19	18	19	18	18	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	7	6	7	6	6	7	7	7	7	
緑丘小	児童数	465	454	428	403	383	366	361	356	353	359	356
	うち通常学級児童数	395	390	368	345	327	316	313	308	306	310	309
	うち特別支援児童数	70	64	60	58	56	50	48	48	47	49	47
	学級数	24	23	21	20	20	19	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	10	9	8	8	8	7	7	7	7	7	
北栄小	児童数	304	280	271	261	249	238	234	233	239	232	235
	うち通常学級児童数	261	238	231	224	212	203	203	202	209	204	207
	うち特別支援児童数	43	42	40	37	37	35	31	31	30	28	28
	学級数	19	18	16	15	13	13	13	13	13	13	14
	うち通常学級数	12	12	11	10	8	8	8	8	9	9	10
	うち特別支援学級数	7	6	5	5	5	5	5	4	4	4	
光南小	児童数	340	340	325	337	326	329	333	334	337	324	318
	うち通常学級児童数	303	300	287	297	287	288	289	289	292	280	278
	うち特別支援児童数	37	40	38	40	39	41	44	45	45	44	40
	学級数	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	7	7	7	6	
東小	児童数	198	199	206	195	200	197	197	190	180	182	175
	うち通常学級児童数	173	177	182	170	174	170	171	164	155	157	151
	うち特別支援児童数	25	22	24	25	26	27	26	26	25	25	24
	学級数	10	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
啓西小	児童数	342	341	305	273	264	261	256	252	261	270	271
	うち通常学級児童数	293	295	265	235	229	225	223	219	226	234	235
	うち特別支援児童数	49	46	40	38	35	36	33	33	35	36	36
	学級数	19	18	17	15	14	15	13	13	14	15	15
	うち通常学級数	12	12	11	10	9	9	8	8	9	10	10
	うち特別支援学級数	7	6	6	5	5	6	5	5	5	5	
稲田小	児童数	547	512	497	488	472	444	443	459	470	483	492
	うち通常学級児童数	488	453	444	431	415	389	385	400	409	419	426
	うち特別支援児童数	59	59	53	57	57	55	58	59	61	64	66
	学級数	26	25	23	23	22	21	21	22	22	24	25
	うち通常学級数	18	17	16	15	14	13	13	14	14	15	16
	うち特別支援学級数	8	8	7	8	8	8	8	8	9	9	
豊成小	児童数	598	588	573	523	521	503	486	442	430	422	427
	うち通常学級児童数	540	528	513	464	466	444	423	382	372	368	371
	うち特別支援児童数	58	60	60	59	55	59	63	60	58	54	56
	学級数	28	28	27	25	24	24	24	22	21	21	21
	うち通常学級数	19	19	18	16	15	15	15	14	13	13	13
	うち特別支援学級数	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
大空学園 前期課程 (1～6 年生)	児童数	332	334	334	325	312	305	304	313	315	336	339
	うち通常学級児童数	272	275	278	273	262	264	264	272	274	292	294
	うち特別支援児童数	60	59	56	52	50	41	40	41	41	44	45
	学級数	20	20	20	18	18	17	17	17	17	18	18
	うち通常学級数	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11
うち特別支援学級数	8	8	8	7	7	6	6	6	6	7	7	
栄小	児童数	329	323	322	316	323	311	324	319	311	306	292
	うち通常学級児童数	288	279	275	268	274	270	281	276	270	266	254
	うち特別支援児童数	41	44	47	48	49	41	43	43	41	40	38
	学級数	18	18	18	19	19	17	19	19	18	17	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	11	12	12	12	11	12
うち特別支援学級数	6	6	6	7	7	6	7	7	6	6	6	
若葉小	児童数	511	494	481	456	433	412	388	393	402	397	402
	うち通常学級児童数	439	430	422	400	379	360	336	341	350	345	349
	うち特別支援児童数	72	64	59	56	54	52	52	52	52	52	53
	学級数	25	24	22	20	21	21	19	19	19	19	20
	うち通常学級数	15	15	14	13	13	13	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	10	9	8	7	8	8	7	7	7	7	8	
広陽小	児童数	344	334	354	370	371	355	347	351	334	323	324
	うち通常学級児童数	287	278	299	315	316	304	301	303	289	278	279
	うち特別支援児童数	57	56	55	55	55	51	46	48	45	45	45
	学級数	20	20	20	20	21	20	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	8	8	8	8	9	8	7	7	7	7	7	
花園小	児童数	178	177	176	175	181	189	192	186	179	172	166
	うち通常学級児童数	151	150	149	148	156	162	167	161	154	148	142
	うち特別支援児童数	27	27	27	27	25	27	25	25	25	24	24
	学級数	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6
うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
啓北小	児童数	350	342	336	317	305	278	248	240	235	225	221
	うち通常学級児童数	310	300	297	277	264	244	217	210	206	197	194
	うち特別支援児童数	40	42	39	40	41	34	31	30	29	28	27
	学級数	18	19	18	18	17	16	14	14	14	13	12
	うち通常学級数	12	12	12	12	11	11	10	10	10	9	8
うち特別支援学級数	6	7	6	6	6	5	4	4	4	4	4	
開西小	児童数	224	216	212	213	203	189	173	173	164	155	145
	うち通常学級児童数	200	193	188	189	178	165	151	151	143	135	126
	うち特別支援児童数	24	23	24	24	25	24	22	22	21	20	19
	学級数	13	13	13	13	12	11	10	10	9	9	9
	うち通常学級数	9	9	9	9	8	7	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	
明和小	児童数	253	235	229	228	235	225	225	226	229	232	229
	うち通常学級児童数	223	205	200	198	207	193	196	198	201	204	200
	うち特別支援児童数	30	30	29	30	28	32	29	28	28	28	29
	学級数	15	13	12	12	11	12	11	12	13	13	11
	うち通常学級数	10	8	7	7	7	7	7	8	9	9	7
うち特別支援学級数	5	5	5	5	4	5	4	4	4	4	4	
森の里小	児童数	233	224	215	199	194	186	176	177	181	186	192
	うち通常学級児童数	193	187	178	167	164	158	153	154	157	161	166
	うち特別支援児童数	40	37	37	32	30	28	23	23	24	25	26
	学級数	16	15	14	11	11	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	7	7	7	5	5	4	4	4	4	4	4	
つつが丘 小	児童数	228	216	204	199	185	167	158	159	153	154	156
	うち通常学級児童数	187	178	168	163	156	143	136	137	131	132	134
	うち特別支援児童数	41	38	36	36	29	24	22	22	22	22	22
	学級数	14	14	12	12	11	10	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	7	7	6	6	5	4	3	3	3	3	3	
川西小	児童数	227	216	221	223	213	198	178	176	174	178	177
	うち通常学級児童数	191	182	188	193	183	168	153	151	149	154	154
	うち特別支援児童数	36	34	33	30	30	30	25	25	25	24	23
	学級数	13	12	12	13	12	12	11	11	10	10	10
	うち通常学級数	7	6	7	7	7	7	7	7	6	6	6
うち特別支援学級数	6	6	5	6	5	5	4	4	4	4	4	
清川小	児童数	41	38	37	34	35	31	31	32	32	31	28
	うち通常学級児童数	34	32	33	30	30	27	27	27	27	26	24
	うち特別支援児童数	7	6	4	4	5	4	4	5	5	5	4
	学級数	5	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4
	うち通常学級数	4	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3
うち特別支援学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
広野小	児童数	29	26	26	28	27	21	17	19	17	14	13
	うち通常学級児童数	24	21	21	22	21	18	15	17	16	14	13
	うち特別支援児童数	5	5	5	6	6	3	2	2	1	0	0
	学級数	6	5	5	5	5	4	4	4	4	3	3
	うち通常学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	
大正小	児童数	119	114	110	101	96	81	80	76	73	67	64
	うち通常学級児童数	100	98	93	90	87	74	71	68	66	61	58
	うち特別支援児童数	19	16	17	11	9	7	9	8	7	6	6
	学級数	9	9	9	9	8	7	8	7	7	7	7
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	3	3	3	3	2	1	2	1	1	1	1	
愛国小	児童数	23	23	20	17	19	21	22	22	22	22	19
	うち通常学級児童数	22	22	20	17	18	20	21	21	21	21	19
	うち特別支援児童数	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0
	学級数	4	4	3	3	4	5	4	4	4	4	3
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3
うち特別支援学級数	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	
合計	児童数	7,307	7,075	6,908	6,680	6,532	6,235	6,121	6,067	6,012	5,981	5,942
	うち通常学級児童数	6,336	6,123	5,995	5,782	5,663	5,414	5,321	5,266	5,223	5,196	5,165
	うち特別支援児童数	971	952	913	898	869	821	800	801	789	785	777
	学級数	409	399	382	372	363	352	343	342	339	340	339
	うち通常学級数	259	252	244	235	228	226	220	221	221	221	221
うち特別支援学級数	150	147	138	137	135	126	123	121	118	119	118	

中学校

(単位：人・学級)

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第一中	生徒数	463	464	452	438	415	402	377	364	345	339	319
	うち通常学級生徒数	425	418	406	394	372	362	340	328	310	305	287
	うち特別支援生徒数	38	46	46	44	43	40	37	36	35	34	32
	学級数	19	20	19	17	17	17	16	16	15	16	14
	うち通常学級数	13	13	12	11	11	11	10	10	9	10	9
	うち特別支援学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5
第二中	生徒数	227	207	197	192	183	196	186	181	163	164	154
	うち通常学級生徒数	201	184	178	172	164	176	167	163	147	148	139
	うち特別支援生徒数	26	23	19	20	19	20	19	18	16	16	15
	学級数	12	10	9	9	9	9	9	9	9	9	8
	うち通常学級数	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5
	うち特別支援学級数	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
第四中	生徒数	337	306	303	309	311	306	292	286	272	281	284
	うち通常学級生徒数	294	267	270	277	280	275	262	257	246	254	256
	うち特別支援生徒数	43	39	33	32	31	31	30	29	26	27	28
	学級数	16	15	14	14	14	14	13	12	12	13	13
	うち通常学級数	10	9	9	9	9	9	9	8	8	9	9
	うち特別支援学級数	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	4
第五中	生徒数	322	319	334	323	313	286	280	278	263	233	214
	うち通常学級生徒数	295	291	302	290	281	258	252	251	237	210	192
	うち特別支援生徒数	27	28	32	33	32	28	28	27	26	23	22
	学級数	14	14	15	14	13	13	12	13	12	10	9
	うち通常学級数	9	9	10	9	9	9	8	9	8	6	6
	うち特別支援学級数	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3
第八中	生徒数	438	448	432	402	378	394	402	389	362	331	328
	うち通常学級生徒数	399	409	393	361	340	354	362	349	325	298	296
	うち特別支援生徒数	39	39	39	41	38	40	40	40	37	33	32
	学級数	20	18	18	17	17	17	17	17	16	14	14
	うち通常学級数	13	12	12	11	11	11	11	11	10	9	9
	うち特別支援学級数	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5
大空学園 後期課程 (7～9 年生)	生徒数	160	160	167	159	177	168	169	157	166	154	155
	うち通常学級生徒数	137	138	146	143	159	151	152	141	149	138	139
	うち特別支援生徒数	23	22	21	16	18	17	17	16	17	16	16
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
南町中	生徒数	630	662	628	617	613	605	597	556	558	555	532
	うち通常学級生徒数	578	609	573	555	552	545	537	502	502	499	480
	うち特別支援生徒数	52	53	55	62	61	60	60	54	56	56	52
	学級数	23	25	24	26	24	24	24	22	23	23	22
	うち通常学級数	16	18	16	17	16	16	16	15	15	15	15
	うち特別支援学級数	7	7	8	9	8	8	8	7	8	8	7
西陵中	生徒数	375	383	369	350	341	333	323	318	314	304	302
	うち通常学級生徒数	334	341	333	316	307	300	290	285	281	272	271
	うち特別支援生徒数	41	42	36	34	34	33	33	33	33	32	31
	学級数	16	16	16	15	15	14	14	14	14	14	14
	うち通常学級数	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5
緑園中	生徒数	283	274	261	232	228	219	220	209	203	190	182
	うち通常学級生徒数	254	242	229	208	205	198	198	187	182	169	162
	うち特別支援生徒数	29	32	32	24	23	21	22	22	21	21	20
	学級数	14	13	11	10	10	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3
翔陽中	生徒数	476	497	488	475	452	478	474	469	446	446	444
	うち通常学級生徒数	421	445	436	427	407	430	426	421	402	402	400
	うち特別支援生徒数	55	52	52	48	45	48	48	48	44	44	44
	学級数	21	21	19	19	19	20	19	19	18	18	18
	うち通常学級数	13	13	12	12	12	13	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6
川西中	生徒数	95	113	111	119	118	116	113	100	103	102	100
	うち通常学級生徒数	87	103	99	107	106	105	102	90	92	92	90
	うち特別支援生徒数	8	10	12	12	12	11	11	10	11	10	10
	学級数	5	6	7	7	7	6	6	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
清川中	生徒数	37	31	24	24	21	24	19	17	13	15	18
	うち通常学級生徒数	33	26	21	22	20	22	18	16	13	15	17
	うち特別支援生徒数	4	5	3	2	1	2	1	1	0	0	1
	学級数	5	5	5	4	4	4	4	3	2	3	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3
うち特別支援学級数	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	1	
八千代中	生徒数	16	11	11	12	12	15	17	14	11	11	13
	うち通常学級生徒数	15	10	11	12	12	13	15	12	11	11	13
	うち特別支援生徒数	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	0
	学級数	3	3	2	2	2	4	5	4	2	2	2
	うち通常学級数	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2
うち特別支援学級数	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	0	
第七中	生徒数	69	74	78	74	69	67	61	61	56	50	48
	うち通常学級生徒数	60	66	68	65	61	59	53	53	50	47	45
	うち特別支援生徒数	9	8	10	9	8	8	8	8	6	3	3
	学級数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	
合計	生徒数	3,928	3,949	3,855	3,726	3,631	3,609	3,530	3,399	3,275	3,175	3,093
	うち通常学級生徒数	3,533	3,549	3,465	3,349	3,266	3,248	3,174	3,055	2,947	2,860	2,787
	うち特別支援生徒数	395	400	390	377	365	361	356	344	328	315	306
	学級数	182	180	173	168	165	165	162	157	151	148	144
	うち通常学級数	117	116	112	108	107	108	106	102	99	98	96
うち特別支援学級数	65	64	61	60	58	57	56	55	52	50	48	

地区（地域）ごとのカルテ

1 東地区

中学校	翔陽中学校	中学校区内の小学校	帯広小学校の一部、柏小学校、光南小学校の一部、東小学校、
-----	-------	-----------	------------------------------

(1) 学校（学校区）の特徴

翔陽中	平成23年に第三中・第六中を統合し、両校の通学区域として新校として開校しました。生徒数は概ね現状で推移し、通常学級も12学級以上で推移する見込みです。
帯広小	明治29年に帯広尋常小学校として開校し、昭和22年帯広小学校と改称し現在に至っています。児童数は概ね現状で推移し、通常学級は適正な学校規模を下回る6学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第五中に分散しています。
柏小	大正10年に帯広第二尋常小学校として開校し、昭和22年柏小学校と改称し現在に至っています。児童数は減少し、通常学級は適正な学校規模を下回る11学級で推移する見込みです。
光南小	昭和29年に明星小から分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級12学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第四中に分散しています。
東小	昭和30年に柏小から分離新設しました。児童数は緩やかに減少し、通常学級は適正な学校規模を下回る6学級で推移する見込みです。
その他	小学校区を大通、電信通、鉄南火防線などで分けているため、分断されている単位町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（令和6年5月1日現在）

コーホート変化率法による推計

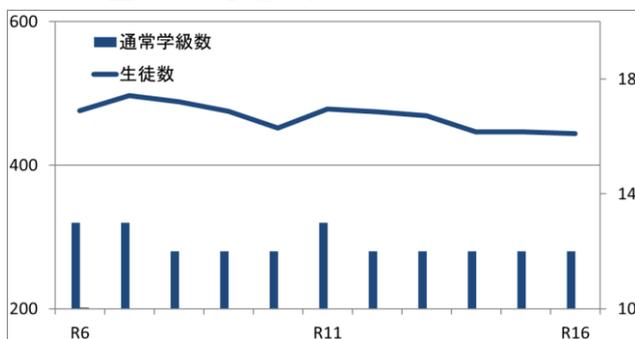
(単位:人・学級)

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
翔陽中	生徒数	476	497	488	475	452	478	474	469	446	446	444
	うち通常学級生徒数	421	445	436	427	407	430	426	421	402	402	400
	うち特別支援生徒数	55	52	52	48	45	48	48	48	44	44	44
	学級数	21	21	19	19	19	20	19	19	18	18	18
	うち通常学級数	13	13	12	12	12	13	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6
帯広小	児童数	190	174	163	163	172	162	162	175	175	175	180
	うち通常学級児童数	168	151	139	138	149	140	140	151	152	151	156
	うち特別支援児童数	22	23	24	25	23	22	22	24	23	24	24
	学級数	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
柏小	児童数	382	360	366	347	328	305	298	286	268	268	269
	うち通常学級児童数	346	322	329	307	289	269	261	250	235	235	236
	うち特別支援児童数	36	38	37	40	39	36	37	36	33	33	33
	学級数	20	18	18	18	18	17	16	16	16	16	16
	うち通常学級数	13	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11
	うち特別支援学級数	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5

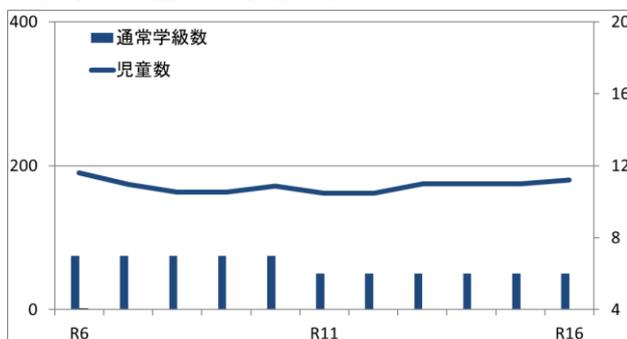
学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
光南小	児童数	340	340	325	337	326	329	333	334	337	324	318
	うち通常学級児童数	303	300	287	297	287	288	289	289	292	280	278
	うち特別支援児童数	37	40	38	40	39	41	44	45	45	44	40
	学級数	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	6
東小	児童数	198	199	206	195	200	197	197	190	180	182	175
	うち通常学級児童数	173	177	182	170	174	170	171	164	155	157	151
	うち特別支援児童数	25	22	24	25	26	27	26	26	25	25	24
	学級数	10	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

【参考】

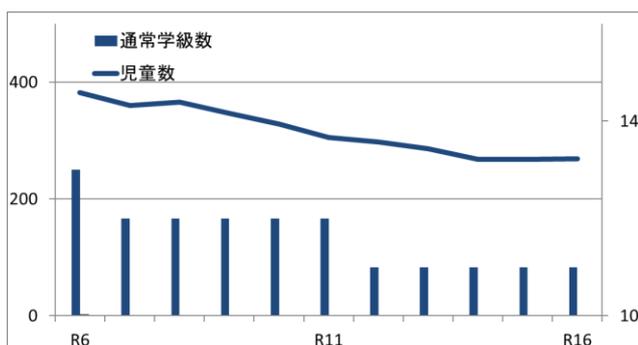
翔陽中 生徒数及び通常学級数の推計



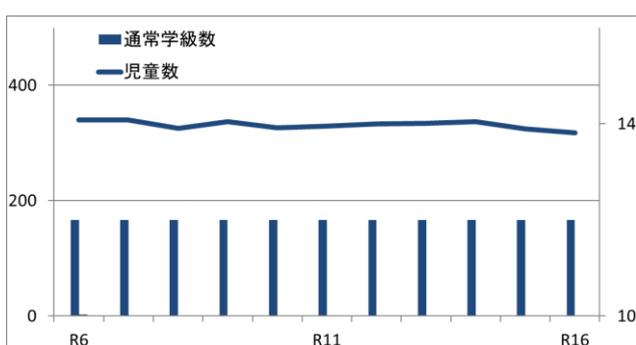
帯広小 児童数及び通常学級数の推計



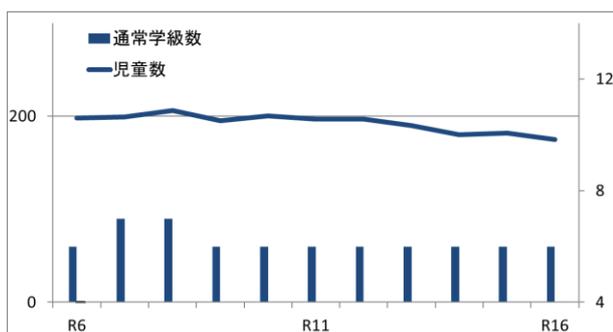
柏小 児童数及び通常学級数の推計



光南小 児童数及び通常学級数の推計



東小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和6年度)

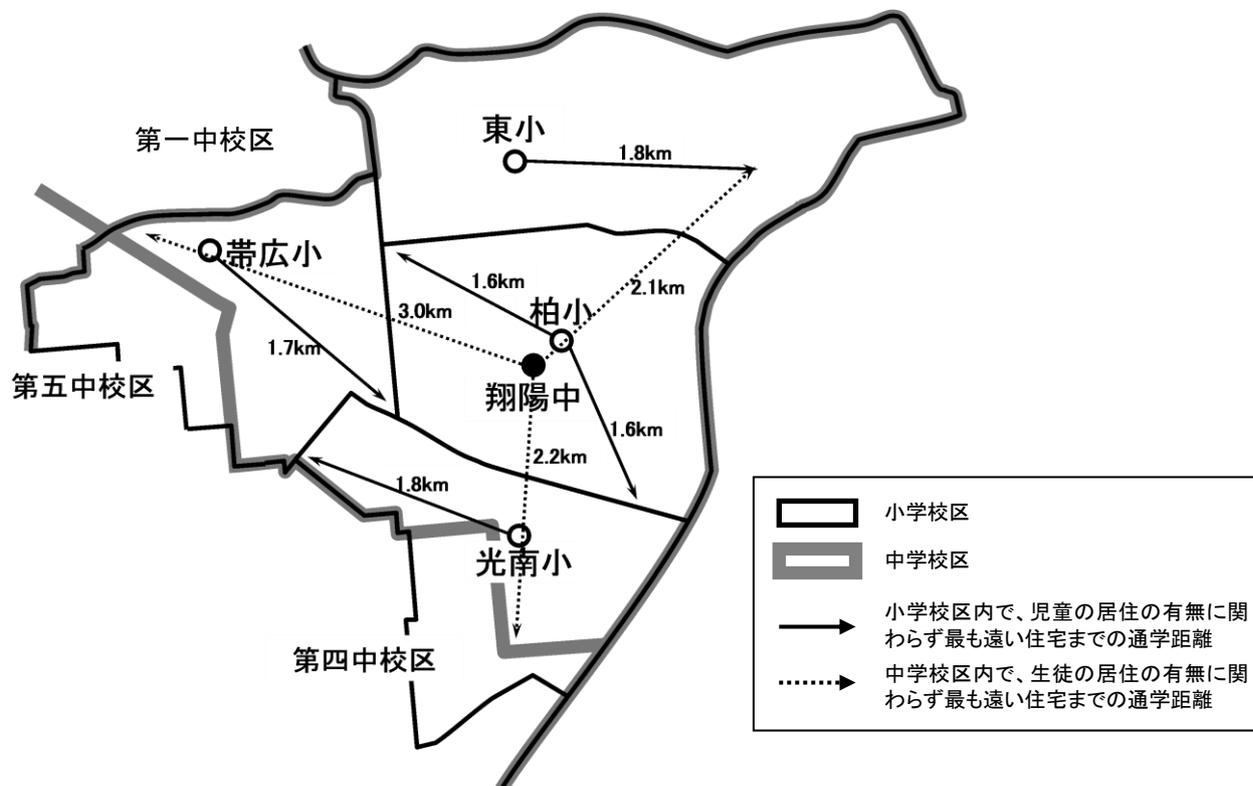
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
翔陽中	21	4.5	9	0	1	1	36.5
帯広小	10	3.5	5	0	1	1	20.5
柏小	15	3	9	0	1	1	29
光南小	15	1	8	0	1	1	26
東小	9	1	5	0	1	1	17

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。翔陽中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(令和6年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
翔陽中	帯広小	大三会（一部）、大四交睦（一部）、五盟（一部）、西三条平和親睦、河南、奉公、センターパーク、新興、睦、西互助12、曙、西互助、西五条親交、十土、緑園、黎明、灯下、新生（一部）、親交（一部）、親盛、緑親、大6親睦（一部）、大7親友（一部）、大八盟友（一部）、大通9丁目親睦（一部）、大通南十丁目親睦（一部）、大通11丁目（一部）、大通12丁目（一部）、大通13丁目共和会（一部）、三和親睦、西1・4共親会、互親、六友会、七友会、西一・八親善、西1条南10丁目、西1条12丁目親睦会、三・四同交会、西2の5、福六、七福、友信、西2条南10丁目共和、駅前、共栄、西3条南9丁目、西3条南10丁目、西4条6開発官舎、センターシティ1、親栄、開広、西11条橋南	東北連合町内会（一部） 中央西地区連合町内会（一部）
	柏小	東3・4親睦（一部）、柏光、東祥親睦、東苑、東明、若草、東オベリベリ親睦、東友東親、東十和、東、農試跡南町、東陽北、東陽、報徳、東九・七親睦、新泉、祥南第1、祥南第2、祥和、桂、晩成、東郊協和、柏親交、柏、道営中央団地1、中央2、十三四、東和5・6親睦、東5・7親睦、東和、東6・9、瑞穂、東光、東和、東亜親睦、東和親睦、東栄和、東4・6親共、東四・七、東4・8、東三・七交和、東三・八、東鳩、東方親睦、東盟、東明、東四条東睦、東3南14親交会、東3条共和、六交、東二・七、八交、東富久、十交会、東栄、柏、十三交睦、東2条14・15親友、東1・6親会、和光、東1・8誠心会、親和、東和会、清和、東1の13・14、大6親睦（一部）、大7親友（一部）、大八盟友（一部）、大通9丁目親睦（一部）、大通南十丁目親睦（一部）、大通11丁目（一部）、大通12丁目（一部）、大通13丁目共和会（一部）	東北連合町内会（一部） 東部地区連合町内会 中央東連合町内会
	光南小	西1・15南親、南六、更生、公明、明交（一部）、新帯広平和、幸進、供和（一部）、東方、光南東、光南第一、クラックス、東進、光南みなみ、東雲、南東団地、東南、コーボ光南第一親睦会、光南、東興、東光、和光（一部）、南栄、鈴蘭、新交、新光、東1・15親和、南興、光友親睦、文化街、更新、平成、睦、隣和、親友、大19親和	鉄南地区連合町内会（一部） 鉄南地区東連合町内会（一部）
	東小	バラト東、いたどり、新バラト、バラト中央、バラト西南、オリエンタルコーボ親睦会、春日東、春日西、春日南、帯里、帯広発祥、東、清泉親睦、発祥親睦会、依田町、東睦、神護親睦、神護東、神護、東4・5東栄、東3・4親睦（一部）、東2の2・3、世互親、東2・5、東1条若葉、東1・4睦、東5親交会、大三会（一部）、大四交睦（一部）、五盟（一部）、北星、大川町親和、リバーサイド、東1条北郵政、神苑昭睦	東北連合町内会（一部） 北栄連合町内会（一部）

(6) 地域の現状

児童生徒数は緩やかに減少し、東小・帯広小は今後も12学級を下回る通常学級数で推移する見込みです。また、光南小・帯広小は、進学先の中学校が複数校となっています。

2 鉄南地区

中学校	第四中学校	中学校区内の小学校	明星小学校、光南小学校の一部、花園小学校の一部
-----	-------	-----------	-------------------------

(1) 学校（学校区）の特徴

第四中	通学区域を変更し第三中の一部編入、稲田中を統合して昭和26年に分離新設しました。生徒数は緩やかに減少し、通常学級は一部の年で適正な学校規模を下回る8学級となる見込みです。
明星小	昭和10年に明星尋常小学校として開校し、昭和22年明星小学校に改称し現在に至っています。また、平成24年度に豊成小の通学区域の一部を変更して編入しました。児童数は減少傾向が続くものの、通常学級は12学級以上で推移する見込みです。
光南小 (再掲)	昭和29年に明星小から分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級は12学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第四中に分散しています。
花園小	公園東町区域における住宅団地開発事業の進展に伴い、明星小、緑丘小、稲田小から昭和57年に分離新設しました。児童数は概ね現状で推移しますが、通常学級は適正な学校規模を下回る6～7学級程度で推移する見込みです。中学校への進学は、第四中、第五中に分散しています。
その他	小学校区を大通や鉄南火防線などで分けているため、分断されている単位町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（令和6年5月1日現在）

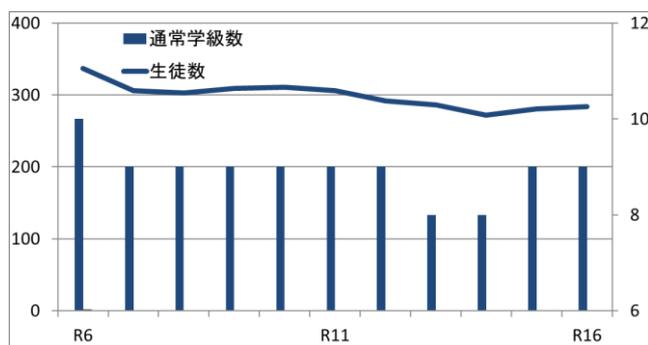
コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

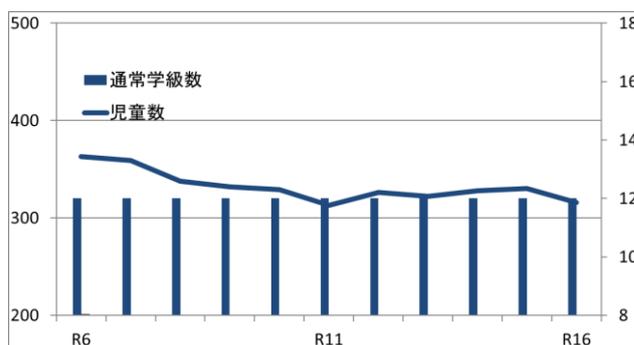
学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第四中	生徒数	337	306	303	309	311	306	292	286	272	281	284
	うち通常学級生徒数	294	267	270	277	280	275	262	257	246	254	256
	うち特別支援生徒数	43	39	33	32	31	31	30	29	26	27	28
	学級数	16	15	14	14	14	14	13	12	12	13	13
	うち通常学級数	10	9	9	9	9	9	9	8	8	9	9
	うち特別支援学級数	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	4
明星小	児童数	363	359	338	332	329	313	326	322	328	330	316
	うち通常学級児童数	321	312	294	290	290	273	284	279	283	285	273
	うち特別支援児童数	42	47	44	42	39	40	42	43	45	45	43
	学級数	18	19	18	19	18	18	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	7	6	7	6	6	7	7	7	7	7
光南小 (再掲)	児童数	340	340	325	337	326	329	333	334	337	324	318
	うち通常学級児童数	303	300	287	297	287	288	289	289	292	280	278
	うち特別支援児童数	37	40	38	40	39	41	44	45	45	44	40
	学級数	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	6
花園小	児童数	178	177	176	175	181	189	192	186	179	172	166
	うち通常学級児童数	151	150	149	148	156	162	167	161	154	148	142
	うち特別支援児童数	27	27	27	27	25	27	25	25	25	24	24
	学級数	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

【参考】

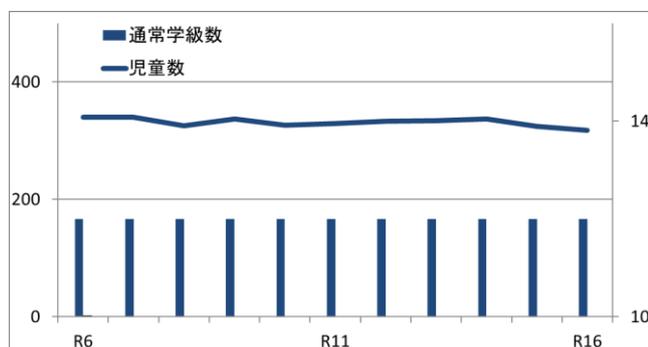
第四中 生徒数及び通常学級数の推計



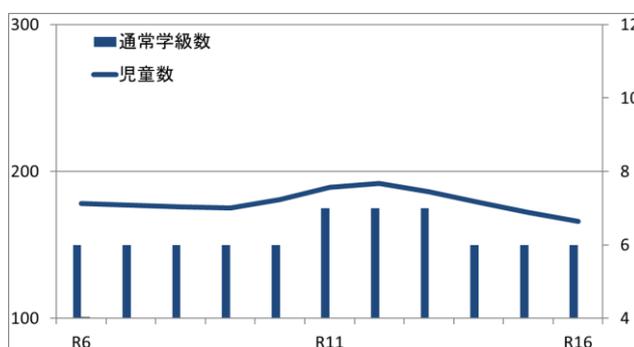
明星小 児童数及び通常学級数の推計



光南小(再掲) 児童数及び通常学級数の推計



花園小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況(令和6年度)

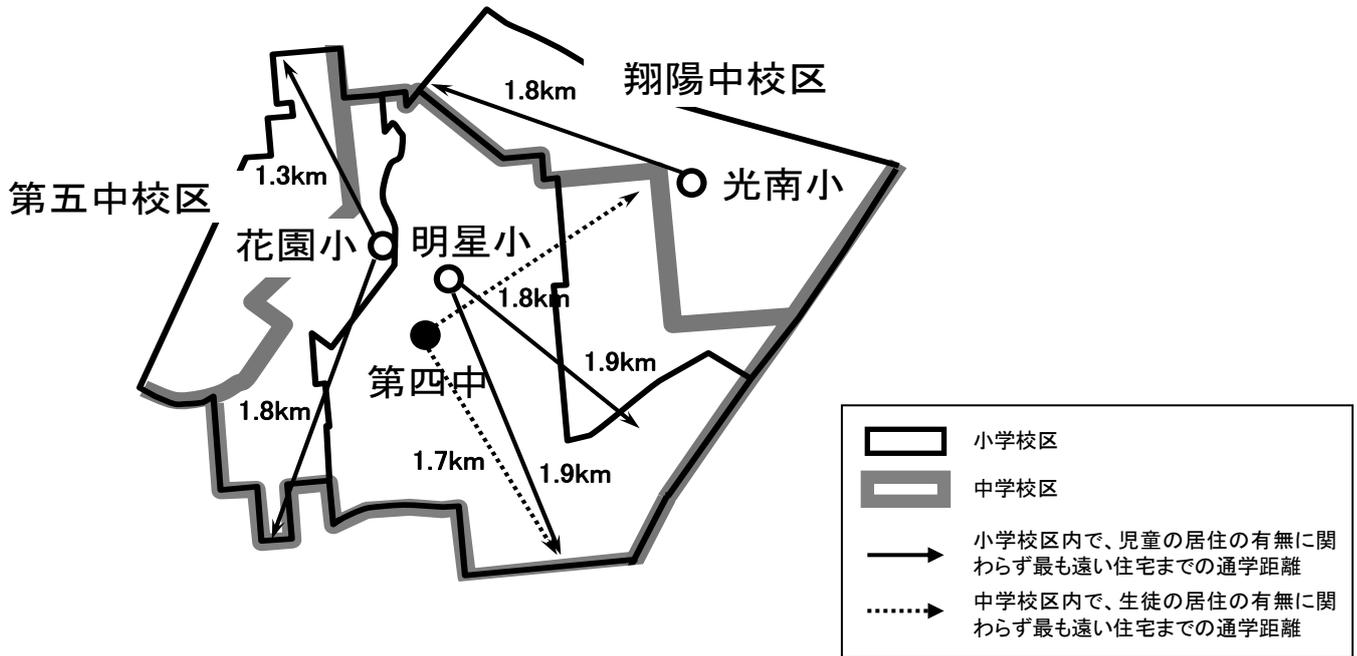
(単位:人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
第四中	16	2	7	0	1	1	27
明星小	15	3	8	0	1	1	28
光南小(再掲)	15	1	8	0	1	1	26
花園小	9	4	6	0	1	1	21

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。



(5) 学校と町内会の関係

(令和6年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第四中	明星小	明交（一部）、永和（一部）、五交（一部）、協和親睦、新和、南園親睦、明和、行幸、明協、互親、明光（一部）、明星親睦、南栄、一条親交、二八、さつき、南豪、三十丁目、親栄、供和（一部）、育生、十九丁目睦、親和、西5・19東、十九和、明和親睦、常盤、大谷、明星、明星共和、啓明、むつみ、第一啓明、新明、三友、明親、四中、六栄歩、六栄第三、六栄東、六栄向陽、六栄第一、新成、南ヶ丘、丘の上、太陽、弥生、若草（一部）、花園（一部）、新生、帯広南橋、豊成北、豊栄、新生（一部）、緑（一部）	鉄南地区連合町内会（一部） 緑栄連合町内会（一部） 豊成連合町内会（一部） 中央西地区連合町内会（一部）
	光南小	明光（一部）、永和（一部）、五交（一部）、東三四、南友、田園、平原、南平原、和光（一部）、清南、松葉、公栄、20丁目、鉄心、第一鉄心、南鉄心、双栄、南交、南生、南親、帯南、二十八区親交	鉄南地区連合町内会（一部） 鉄南地区東連合町内会（一部）
	花園小	公園、公園三〇、公園東町ハイツ1号、公園東町ハイツ2号、公園東町ハイツ3号、公園朝日、公園東町、緑園、若草（一部）、花園（一部）、緑新、七緑、スズラン、緑（一部）、緑山、緑生、新緑生	緑栄連合町内会（一部） 中央西地区連合町内会（一部）

(6) 地域の現状

児童生徒数は減少し、花園小は今後も通常学級12学級を下回る通常学級数で推移する見込みです。また、花園小、光南小は、進学先の中学校が複数校となっています。

3 川北地区

中学校	第一中学校	中学校区内の小学校	北栄小学校、栄小学校の一部、啓北小学校
-----	-------	-----------	---------------------

(1) 学校（校区）の特徴

第一中	昭和 22 年に学制改革により、啓北高等小学校から帯広市立帯広第一中学校と改称して開校しました。生徒数は減少し、通常学級は 9～10 学級で推移する見込みです。
北栄小	昭和 28 年に帯広小から分離新設しました。児童数は減少し、通常学級は令和 8 年度以降適正な学校規模を下回る 8～10 学級で推移する見込みです。
栄 小	昭和 46 年に北栄小から分離新設しました。児童数は概ね現状で推移しますが、通常学級は一部の年で適正な学校規模を下回る 11 学級となる見込みです。中学校への進学先は、第一中、西陵中に分散しています。
啓北小	北栄小、栄小の児童急増に伴い、両校の通学区域を一部変更して、昭和 58 年に分離新設しました。児童数は減少し、通常学級は当面 12 学級ですが、令和 10 年度以降適正な学校規模を下回る 8～11 学級となる見込みです。
その他	小学校区や町内会区域が複雑に分かれているため、分断されている町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（令和6年5月1日現在）

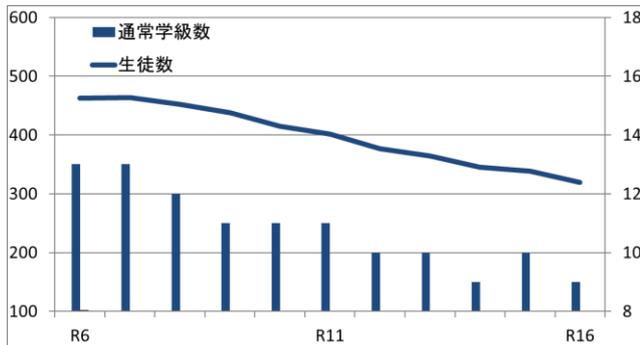
コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

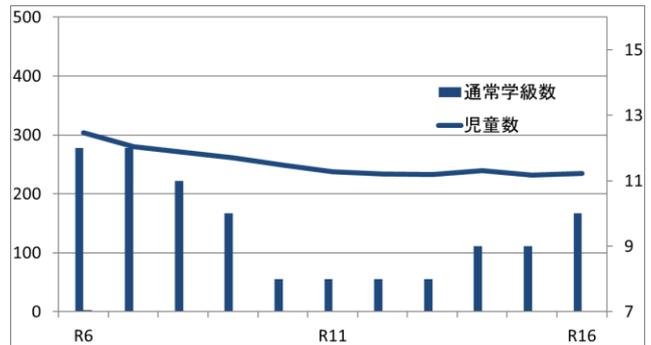
学校名	区 分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第一中	生徒数	463	464	452	438	415	402	377	364	345	339	319
	うち通常学級生徒数	425	418	406	394	372	362	340	328	310	305	287
	うち特別支援生徒数	38	46	46	44	43	40	37	36	35	34	32
	学級数	19	20	19	17	17	17	16	16	15	16	14
	うち通常学級数	13	13	12	11	11	11	10	10	9	10	9
	うち特別支援学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5
北栄小	児童数	304	280	271	261	249	238	234	233	239	232	235
	うち通常学級児童数	261	238	231	224	212	203	203	202	209	204	207
	うち特別支援児童数	43	42	40	37	37	35	31	31	30	28	28
	学級数	19	18	16	15	13	13	13	13	13	13	14
	うち通常学級数	12	12	11	10	8	8	8	8	9	9	10
	うち特別支援学級数	7	6	5	5	5	5	5	5	4	4	4
栄 小	児童数	329	323	322	316	323	311	324	319	311	306	292
	うち通常学級児童数	288	279	275	268	274	270	281	276	270	266	254
	うち特別支援児童数	41	44	47	48	49	41	43	43	41	40	38
	学級数	18	18	18	19	19	17	19	19	18	17	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	11	12	12	12	11	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	7	7	6	7	7	6	6	6
啓北小	児童数	350	342	336	317	305	278	248	240	235	225	221
	うち通常学級児童数	310	300	297	277	264	244	217	210	206	197	194
	うち特別支援児童数	40	42	39	40	41	34	31	30	29	28	27
	学級数	18	19	18	18	17	16	14	14	14	13	12
	うち通常学級数	12	12	12	12	11	11	10	10	10	9	8
	うち特別支援学級数	6	7	6	6	6	5	4	4	4	4	4

【参考】

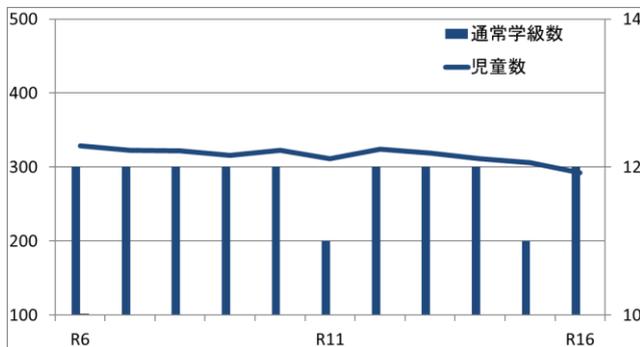
第一中 生徒数及び通常学級数の推計



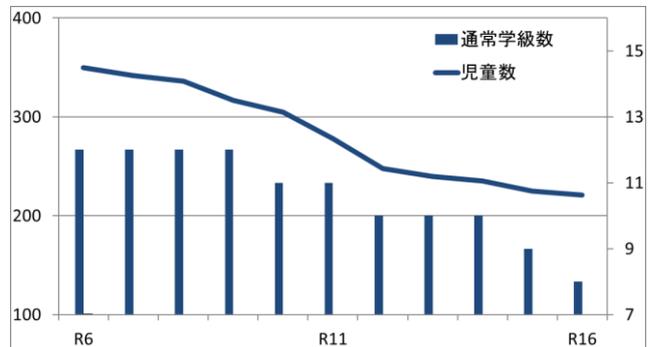
北栄小 児童数及び通常学級数の推計



栄小 児童数及び通常学級数の推計



啓北小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和6年度)

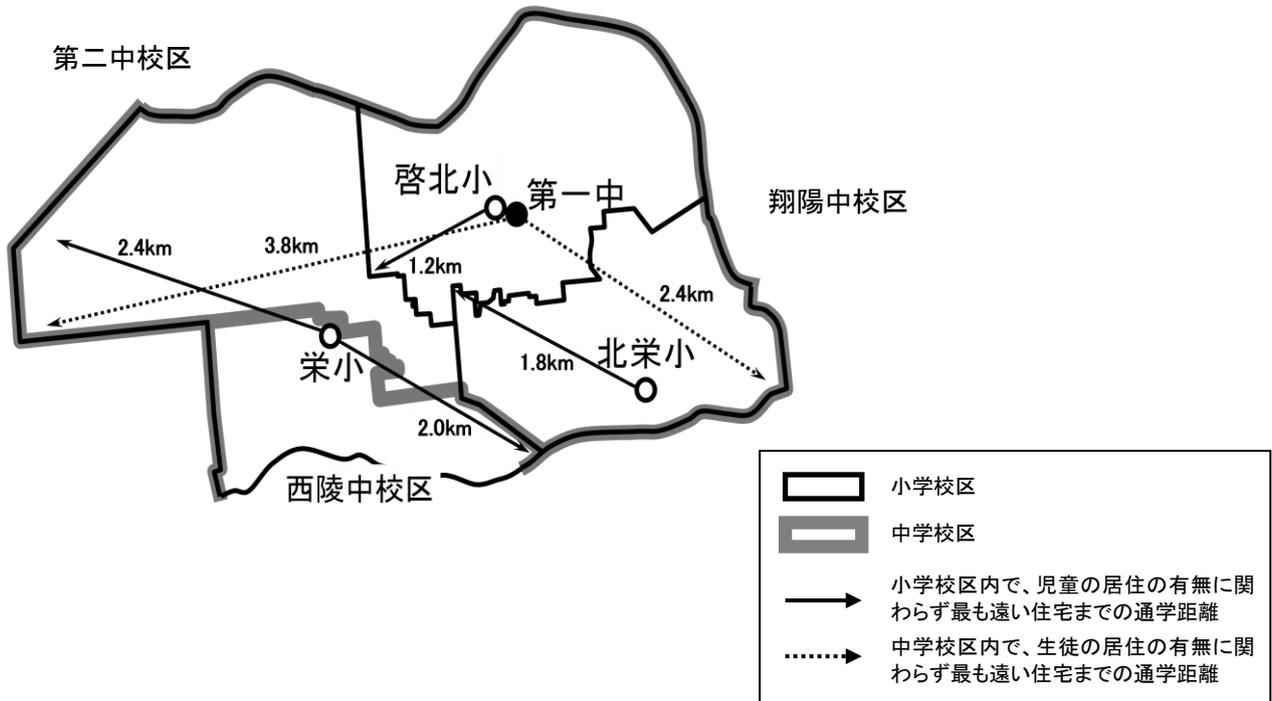
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
第一中	21	4	7		1	1	34
北栄小	15	2	9		1	1	28
栄小	15	4	7		1	1	28
啓北小	15	2	8		1	1	27

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。第一中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(令和6年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第一中	北栄小	三和、新十勝大橋、音石、西二条南一丁目、西二条2・3親交、睦親睦、明神、北栄、北光親睦、三吉親交、北親、みどり、川北、光北、捷和、三吉、北栄隣組、新栄、交和、寛裕、北鳳、第一交和、親成、北興(一部)、泰北、北交、共和、若草、北泉、西10条北親、拓栄、拓光東、北進、北明、いずみ野(一部)、北協和(一部)、西13条北、西14条親睦、西央、北一線(一部)、北友、玄友親睦、北郊、緑栄、玄進、北星、大心東(一部)	北栄連合町内会(一部) 啓北連合町内会(一部) 栄地区連合町内会(一部)
	栄小	報和(一部)、北一親睦(一部)、大心東(一部)、報友、広栄、西16条新和(一部)、大心中央、大心西、新栄、あづさ、緑陽、光栄、栄、栄北、北報和、栄町、西18条新和、柏友(一部)、正進親睦	栄地区連合町内会(一部) 西帯広連合町内会(一部)
	啓北小	北興(一部)、長和、新北西、北愛、玄北東、一中啓北、玄北中央、玄北西、緑勝、青葉、北一線(一部)、いずみ野(一部)、北協和(一部)、北伸第一、北伸、桜、西16条北2開発、北一親睦(一部)、大心東(一部)、報和(一部)、6号栄	啓北連合町内会(一部) 栄地区連合町内会(一部)

(6) 地域の現状

地区内の小中学校の児童生徒数は減少で推移します。啓北小は、令和10年度には通常学級が12学級を下回る見込みで、その後も減少傾向が続きます。また、栄小は進学先の中学校が複数校となっています。

4 西地区

中学校	第五中学校	中学校区内の小学校	帯広小学校の一部、緑丘小学校、啓西小学校の一部、花園小学校の一部
中学校	第八中学校	中学校区内の小学校	若葉小学校、広陽小学校の一部、明和小学校
中学校	西陵中学校	中学校区内の小学校	啓西小学校の一部、栄小学校の一部、広陽小学校の一部

(1) 学校（学校区）の特徴

第五中	昭和 34 年に第四中から分離新設しました。生徒数は減少し、通常学級は令和 12 年度に適正な学校規模を下回る 8 学級となる見込みです。
帯広小 (再掲)	明治 29 年に帯広尋常小学校として開校し、昭和 22 年帯広小学校と改称し現在に至っています。児童数は概ね現状で推移し、通常学級は適正な学校規模を下回る 6 学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第五中に分散しています。
緑丘小	昭和 26 年に明星小から分離新設しました。児童数は減少し、通常学級は 12 学級で推移する見込みです。
啓西小	柏林台団地の造成に伴い、昭和 41 年に帯広小、緑丘小から分離新設しました。児童数は減少傾向にあり、令和 8 年度以降適正な学校規模を下回り、8～10 学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、西陵中、第五中に分散しています。
花園小 (再掲)	公園東町区域における住宅団地開発事業の進展に伴い、明星小、緑丘小、稲田小から昭和 57 年に分離新設しました。児童数は概ね現状で推移しますが、通常学級は適正な学校規模を下回る 6～7 学級程度で推移する見込みです。中学校への進学は、第四中、第五中に分散しています。
第八中	自由が丘などの新興住宅地の人口急増のため昭和 49 年に第五中から分離新設しました。生徒数は減少し、令和 15 年度以降、通常学級は 9 学級で推移する見込みです。
若葉小	緑丘小、稲田小の大規模化を解消するため、昭和 47 年に分離新設しました。児童数は減少し、令和 12 年度以降、通常学級は 12 学級で推移する見込みです。
広陽小	啓西小、若葉小の児童急増に伴い、両校の通学区域を一部変更して、昭和 54 年に分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級は 12 学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、西陵中、第八中に分散しています。
明和小	西地区の宅地開発に伴い、児童が急増する広陽小、若葉小の通学区域を一部変更して、平成 2 年に分離新設しました。児童数は緩やかに減少し、通常学級は適正な学校規模を下回る 7～9 学級で推移する見込みです。
西陵中	第一中・第五中の大規模化を解消するため両校の通学区域を一部変更して、昭和 53 年に分離新設しました。生徒数は緩やかに減少し、通常学級は 9 学級で推移する見込みです。
栄小 (再掲)	昭和 46 年に北栄小から分離新設しました。児童数は概ね現状で推移しますが、通常学級は一部の年で適正な学校規模を下回る 11 学級となる見込みです。中学校への進学先は、第一中、西陵中に分散しています。
その他	小学校区、中学校区や町内会区域が複雑に分かれているため、分断されている町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（令和6年5月1日現在）

コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

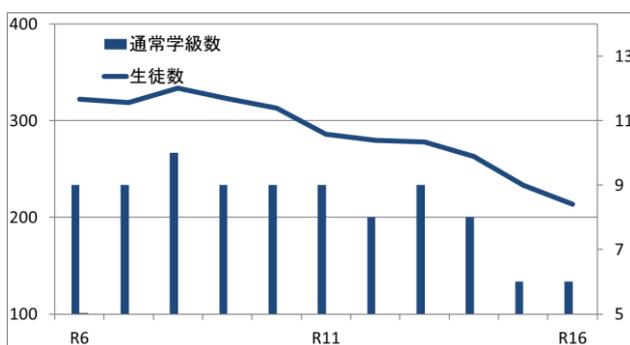
学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第五中	生徒数	322	319	334	323	313	286	280	278	263	233	214
	うち通常学級生徒数	295	291	302	290	281	258	252	251	237	210	192
	うち特別支援生徒数	27	28	32	33	32	28	28	27	26	23	22
	学級数	14	14	15	14	13	13	12	13	12	10	9
	うち通常学級数	9	9	10	9	9	9	8	9	8	6	6
	うち特別支援学級数	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3
帯広小 (再掲)	児童数	190	174	163	163	172	162	162	175	175	175	180
	うち通常学級児童数	168	151	139	138	149	140	140	151	152	151	156
	うち特別支援児童数	22	23	24	25	23	22	22	24	23	24	24
	学級数	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
緑丘小	児童数	465	454	428	403	383	366	361	356	353	359	356
	うち通常学級児童数	395	390	368	345	327	316	313	308	306	310	309
	うち特別支援児童数	70	64	60	58	56	50	48	48	47	49	47
	学級数	24	23	21	20	20	19	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	10	9	8	8	8	7	7	7	7	7	7
啓西小	児童数	342	341	305	273	264	261	256	252	261	270	271
	うち通常学級児童数	293	295	265	235	229	225	223	219	226	234	235
	うち特別支援児童数	49	46	40	38	35	36	33	33	35	36	36
	学級数	19	18	17	15	14	15	13	13	14	15	15
	うち通常学級数	12	12	11	10	9	9	8	8	9	10	10
	うち特別支援学級数	7	6	6	5	5	6	5	5	5	5	5
花園小 (再掲)	児童数	178	177	176	175	181	189	192	186	179	172	166
	うち通常学級児童数	151	150	149	148	156	162	167	161	154	148	142
	うち特別支援児童数	27	27	27	27	25	27	25	25	25	24	24
	学級数	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
第八中	生徒数	438	448	432	402	378	394	402	389	362	331	328
	うち通常学級生徒数	399	409	393	361	340	354	362	349	325	298	296
	うち特別支援生徒数	39	39	39	41	38	40	40	40	37	33	32
	学級数	20	18	18	17	17	17	17	17	16	14	14
	うち通常学級数	13	12	12	11	11	11	11	11	10	9	9
	うち特別支援学級数	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5
若葉小	児童数	511	494	481	456	433	412	388	393	402	397	402
	うち通常学級児童数	439	430	422	400	379	360	336	341	350	345	349
	うち特別支援児童数	72	64	59	56	54	52	52	52	52	52	53
	学級数	25	24	22	20	21	21	19	19	19	19	20
	うち通常学級数	15	15	14	13	13	13	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	10	9	8	7	8	8	7	7	7	7	8

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
広陽小	児童数	344	334	354	370	371	355	347	351	334	323	324
	うち通常学級児童数	287	278	299	315	316	304	301	303	289	278	279
	うち特別支援児童数	57	56	55	55	55	51	46	48	45	45	45
	学級数	20	20	20	20	21	20	19	19	19	19	19
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	8	8	8	8	9	8	7	7	7	7	7
明和小	児童数	253	235	229	228	235	225	225	226	229	232	229
	うち通常学級児童数	223	205	200	198	207	193	196	198	201	204	200
	うち特別支援児童数	30	30	29	30	28	32	29	28	28	28	29
	学級数	15	13	12	12	11	12	11	12	13	13	11
	うち通常学級数	10	8	7	7	7	7	7	8	9	9	7
	うち特別支援学級数	5	5	5	5	4	5	4	4	4	4	4
西陵中	生徒数	375	383	369	350	341	333	323	318	314	304	302
	うち通常学級生徒数	334	341	333	316	307	300	290	285	281	272	271
	うち特別支援生徒数	41	42	36	34	34	33	33	33	33	32	31
	学級数	16	16	16	15	15	14	14	14	14	14	14
	うち通常学級数	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5
栄小 (再掲)	児童数	329	323	322	316	323	311	324	319	311	306	292
	うち通常学級児童数	288	279	275	268	274	270	281	276	270	266	254
	うち特別支援児童数	41	44	47	48	49	41	43	43	41	40	38
	学級数	18	18	18	19	19	17	19	19	18	17	18
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	11	12	12	12	11	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	7	7	6	7	7	6	6	6

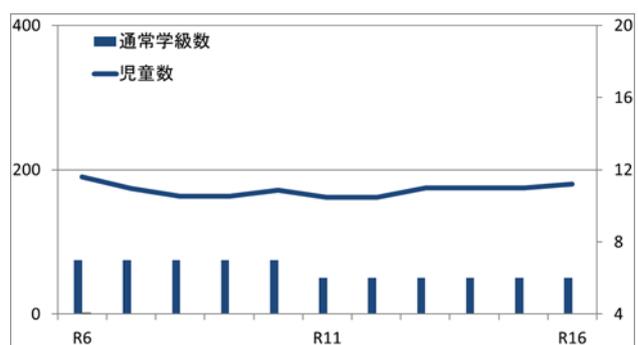
啓西小、広陽小、緑丘小は、西地区内で重複するため、記載を省略。

【参考】

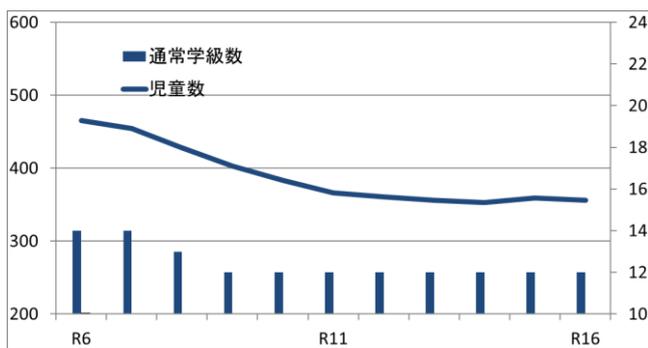
第五中 生徒数及び通常学級数の推計



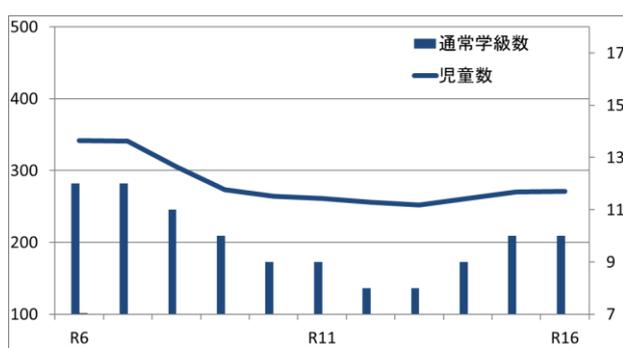
帯広小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



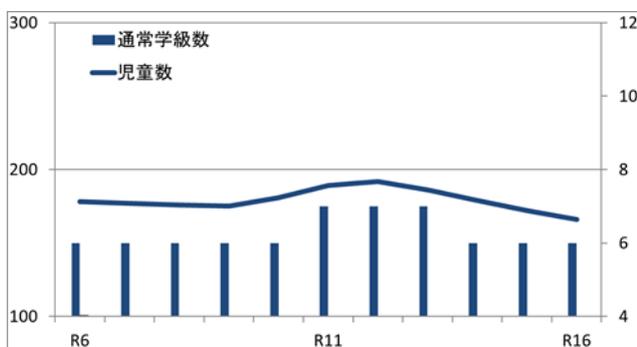
緑丘小 児童数及び通常学級数の推計



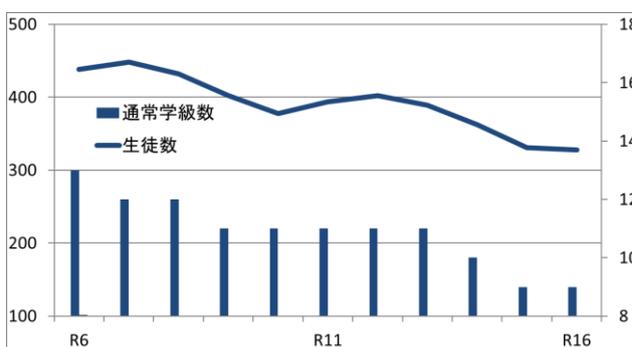
啓西小 児童数及び通常学級数の推計



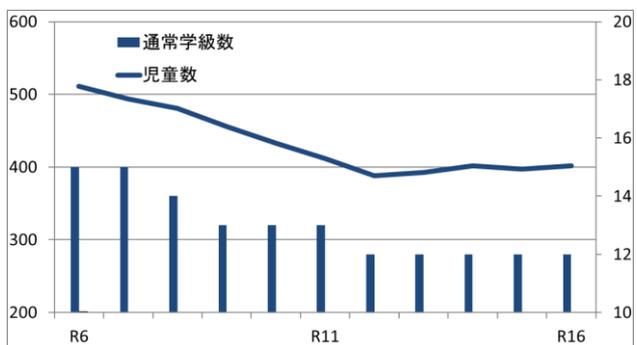
花園小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



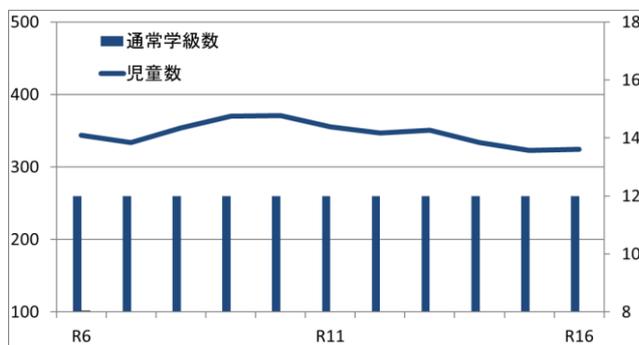
第八中 生徒数及び通常学級数の推計



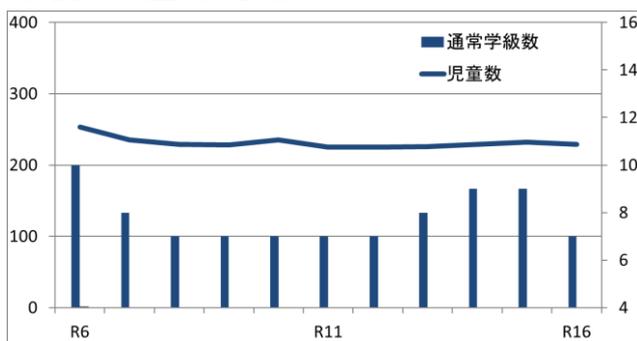
若葉小 児童数及び通常学級数の推計



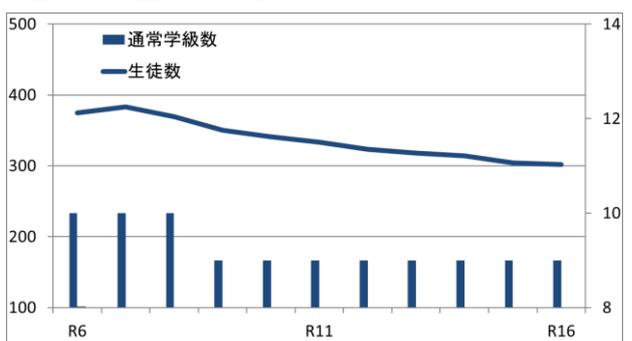
広陽小 児童数及び通常学級数の推計



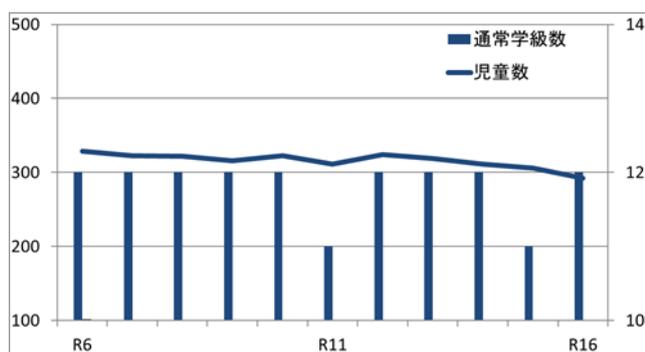
明和小 児童数及び通常学級数の推計



西陵中 生徒数及び通常学級数の推計



栄小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和6年度)

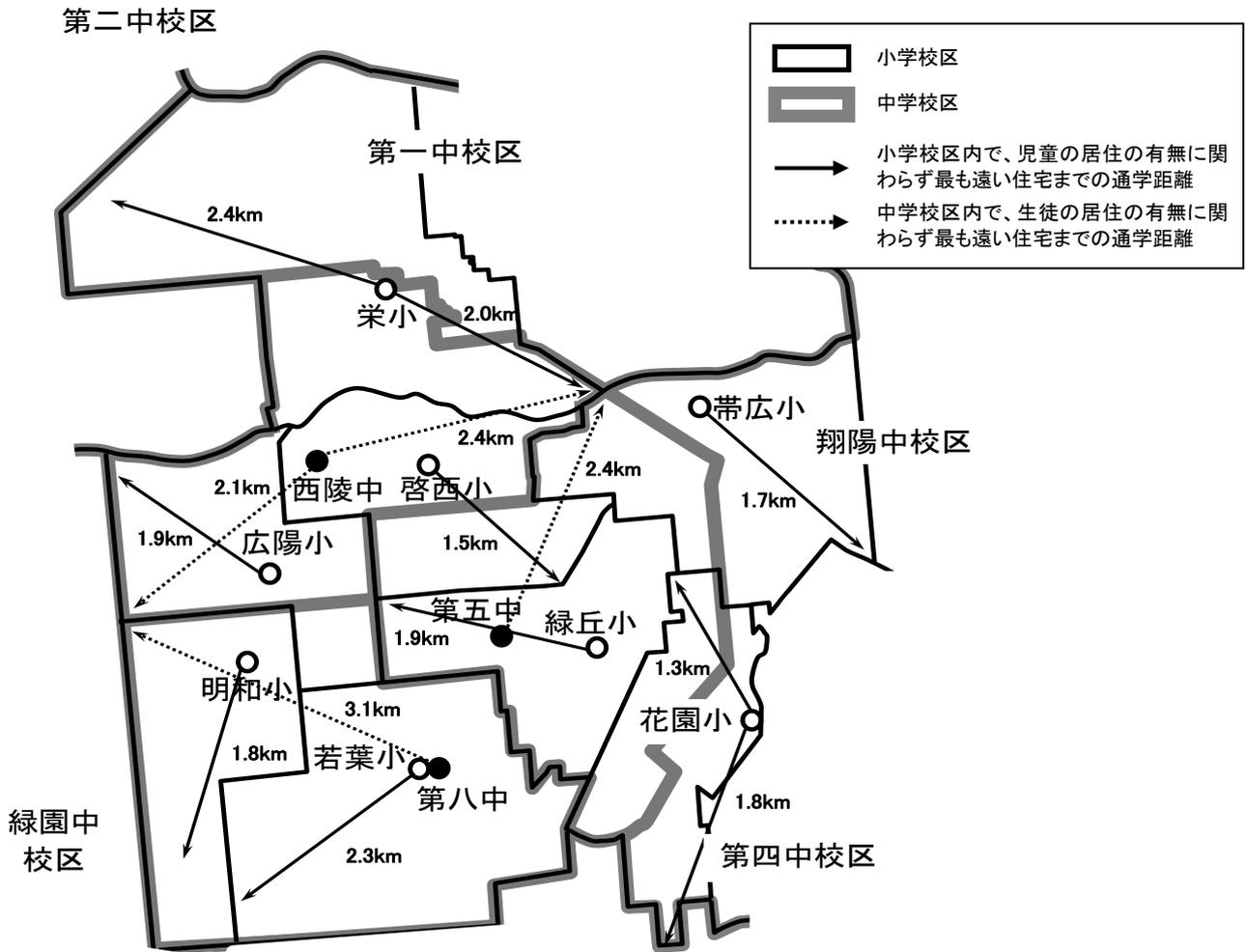
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
第五中	16	3	7		1	1	28
帯広小(再掲)	10	3.5	5		1	1	20.5
緑丘小	18	4	11		1	1	35
啓西小	15	3.5	9		1	1	29.5
花園小(再掲)	9	4	6		1	1	21
第八中	21	3.5	8		1	1	34.5
若葉小	19	3.5	12		1	1	36.5
広陽小	15	2	10		1	1	29
明和小	13	3	6		1	1	24
西陵中	18	1	7		1	2	29
栄小(再掲)	15	4	7		1	1	28

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員。

(4) 通学区及び通学距離

通学区と通学距離は、下図のとおりとなっています。第五中、第八中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(令和6年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第五中	帯広小	新町東、新町中央、高倉西、西栄（一部）、西伸（一部）、西南部親交（一部）、中央、第一親緑	競馬場連合町内会（一部） 中央西地区連合町内会（一部）
	緑丘小	西栄（一部）、西伸（一部）、若緑、新緑、みどり、12、緑栄、緑栄第一、十五日、緑勝、緑光、南緑、ひまわり、十五、広和、緑友、緑葉、同栄、緑ヶ丘第三、緑親、双葉、むつき、緑ヶ丘さくら、みどり親交、緑むつみ、草園、新栄（一部）、新興、富貴、第一富貴、愛睦、緑西道堂、和交、栄和、五中北、三八東、峰洋、南商第一、新緑むつみ、緑西、緑林、睦、泉、丘の町（一部）、共親、桜町（一部）、北斗、親和東、寿、親和南、親緑、躍進、緑苑、芳園、春駒、春駒西、緑泉、あかしや、あかしや中央（一部）、和泉、共親、北斗、親和南、親和東、八条コーポ	競馬場連合町内会（一部） 緑ヶ丘地区連合町内会 春駒連合町内会（一部） むつみ連合町内会 中央西地区連合町内会（一部） 若葉連合町内会（一部）
	啓西小	競馬場、北駒、新栄（一部）、協和、和興、新柏林台、新柏林台北、新柏林台中央、新柏林台南、あやめ	競馬場連合町内会（一部） 春駒連合町内会（一部） 新柏林台連合町内会
	花園小	親交（一部）、丘の町（一部）、月進、桜町（一部）、第三広和、広和第一、広和第二	中央西地区連合町内会（一部）

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第八中	若葉小	商東、美佐和、あかしや中央（一部）、ときわ、緑交、緑南、わか な、南商西、共和第一、共和南、若葉、共和第二親睦、十八緑、 緑明、自由が丘弥生、自由が丘二丁目、自由が丘第一、自由が丘 北都、自由が丘高台、自衛隊西宿舎、大門街（一部）、つくし野	若葉連合町内会（一部） 緑商連合町内会 自由が丘地区連合町内会（一部） 南町連合町内会（一部）
	広陽小	柏南緑、晴見台東、晴見台西、野栄	広陵連合町内会（一部）
	明和小	十九条東、東常盤、西十九緑、西常盤、20条希望、青空、協和 20条、協和南、西20条桜の森、おびひろの森西、西一九、明 和、やまびこ、川東あさがお、川東くろゆり、20条4	西部地区連合町内会 自由が丘地区連合町内会（一部） 広陵連合町内会（一部）
西陵中	啓西小	善友、くるみ、柏林台すすらん、柏林台啓北、東柏林台、パーク サイド、柏林台東町、柏林台学園前、柏林台ひまわり、柏林台北 町第3自治会、柏林台北町第二、柏林台北町第一、柏林台北西、 J Rアパート自治会、柏林台郵政、柏林台中町2丁目、柏林台四 一、柏林台中央団地自治会、柏林台親和、柏西、柏林台啓西、柏 林台、柏林台中央、柏新、柏新第一、柏林台南、柏林台四つ葉、 柏林台第一、やなぎ、東こまどり、西しらかば、啓西第一、こま どり、柏林台西町、柏林台ニュータウン	柏林台連合町内会 広陵連合町内会（一部）
	栄小	西16条新和（一部）、白鳩、第一報和、中帯広東、西17条新 和、中帯広北、中帯広西、柏友（一部）、北星、大和一、大和二、 大和三、大和五、大和六、大和七、報和南、柳華、中帯広南	栄地区連合町内会（一部） やまと連合町内会
	広陽小	弥生、三友東、三友中央、山望北、山望南、山望、37東、三七、 三友西、三七北、静和、広西、啓新、西陵第1、啓和、静光	広陵連合町内会（一部）

（6）地域の現状

地区内の3中学校は、適正な学校規模を維持していますが、地区内の7小学校のうち、帯広小・啓西小・栄小・花園小・明和小は、児童数の減少から通常学級12学級を下回る見込みです。また、地区内の5小学校は、進学先の中学校が複数校となっています。

5 西帯広地区

中学校	第二中学校	中学校区内の小学校	西小学校、つつじが丘小学校
中学校	緑園中学校	中学校区内の小学校	開西小学校、森の里小学校

(1) 学校（学校区）の特徴

第二中	昭和 22 年に開校しました。生徒数の減少傾向のため、通常学級は適正な学校規模を下回る 5～6 学級になる見込みです。
西 小	明治 31 年帯広小学校伏古分校として開校し、伏古尋常小学校などの改称を経て、昭和 22 年西小学校と改称し現在に至っています。児童数は緩やかに減少するものの、通常学級は現状維持の 6 学級で推移する見込みです。
つつじが丘小	宅地造成に伴い、開西小の通学区域を一部変更して平成 11 年に分離新設しました。20 代の人口比率が高く、30 代前半の流入から、児童数は減少し、通常学級は適正な学校規模を下回る 6 学級となる見込みです。
緑園中	西帯広地区の急激な人口増による第二中の過密解消のため、通学区域を一部変更して平成 4 年分離新設しました。生徒数は減少傾向が続き、その後横ばいに推移し、通常学級は令和 7 年度から適正な学校規模を下回り、令和 9 年度以降は 6 学級となる見込みです。
開西小	西帯広ニュータウンの住宅団地の造成に伴い、西小から昭和 60 年に分離新設しました。児童数の減少傾向のため、通常学級は適正な学校規模を下回る 6 学級となる見込みです。
森の里小	西帯広ニュータウンの住宅団地の造成に伴い、開西小の通学区域を一部変更して平成 3 年に分離新設しました。児童数は緩やかに減少しますが、通常学級は適正な学校規模を下回る 6 学級で推移する見込みです。
その他	概ね単位町内会と学校区が一致しています。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（令和 6 年 5 月 1 日現在）

コーホート変化率法による推計

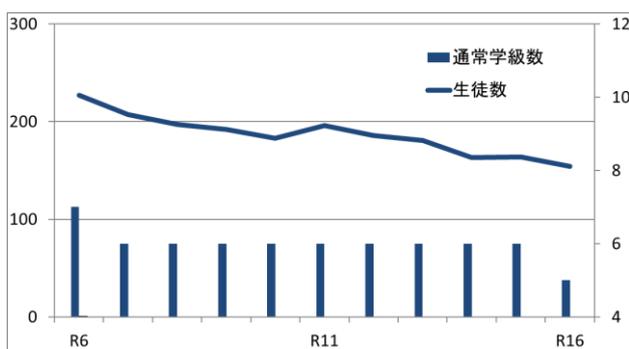
(単位:人・学級)

学校名	区 分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第二中	生徒数	227	207	197	192	183	196	186	181	163	164	154
	うち通常学級生徒数	201	184	178	172	164	176	167	163	147	148	139
	うち特別支援生徒数	26	23	19	20	19	20	19	18	16	16	15
	学級数	12	10	9	9	9	9	9	9	9	9	8
	うち通常学級数	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5
	うち特別支援学級数	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
西 小	児童数	157	156	159	157	156	148	162	156	150	138	136
	うち通常学級児童数	127	127	134	131	130	127	140	135	130	119	117
	うち特別支援児童数	30	29	25	26	26	21	22	21	20	19	19
	学級数	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3

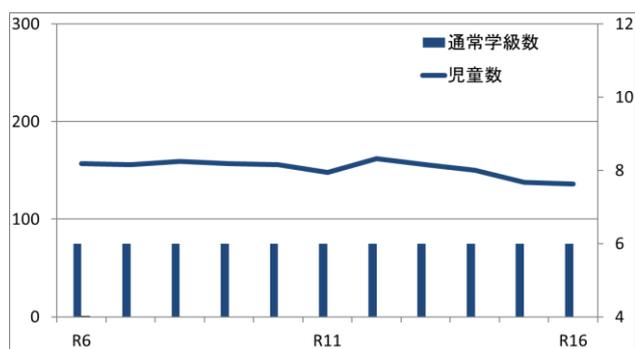
学校名	区 分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
つつじが丘小	児童数	228	216	204	199	185	167	158	159	153	154	156
	うち通常学級児童数	187	178	168	163	156	143	136	137	131	132	134
	うち特別支援児童数	41	38	36	36	29	24	22	22	22	22	22
	学級数	14	14	12	12	11	10	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	7	7	6	6	5	4	3	3	3	3	3
緑園中	生徒数	283	274	261	232	228	219	220	209	203	190	182
	うち通常学級生徒数	254	242	229	208	205	198	198	187	182	169	162
	うち特別支援生徒数	29	32	32	24	23	21	22	22	21	21	20
	学級数	14	13	11	10	10	9	9	9	9	9	9
	うち通常学級数	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3
開西小	児童数	224	216	212	213	203	189	173	173	164	155	145
	うち通常学級児童数	200	193	188	189	178	165	151	151	143	135	126
	うち特別支援児童数	24	23	24	24	25	24	22	22	21	20	19
	学級数	13	13	13	13	12	11	10	10	9	9	9
	うち通常学級数	9	9	9	9	8	7	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3
森の里小	児童数	233	224	215	199	194	186	176	177	181	186	192
	うち通常学級児童数	193	187	178	167	164	158	153	154	157	161	166
	うち特別支援児童数	40	37	37	32	30	28	23	23	24	25	26
	学級数	16	15	14	11	11	10	10	10	10	10	10
	うち通常学級数	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	7	7	7	5	5	4	4	4	4	4	4

【参考】

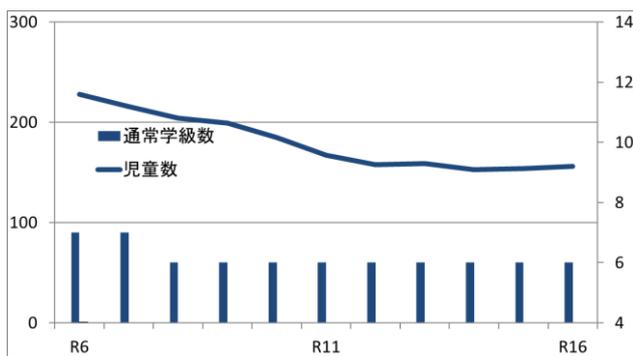
第二中 生徒数及び通常学級数の推計



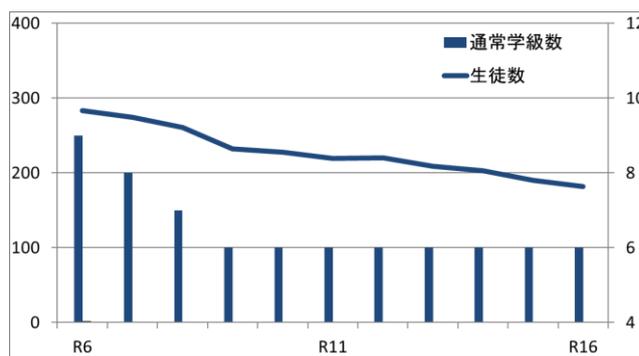
西小 児童数及び通常学級数の推計



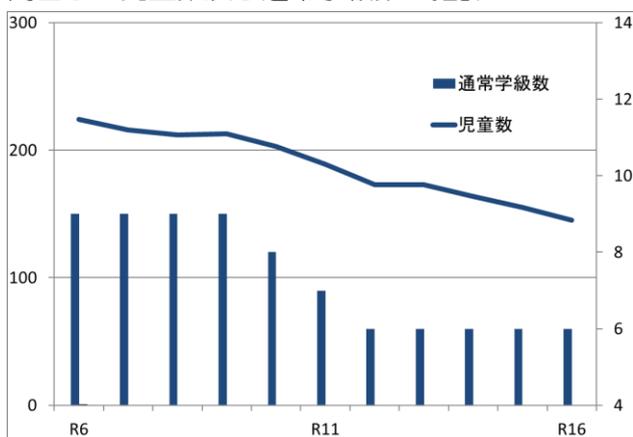
つつじが丘小 児童数及び通常学級数の推計



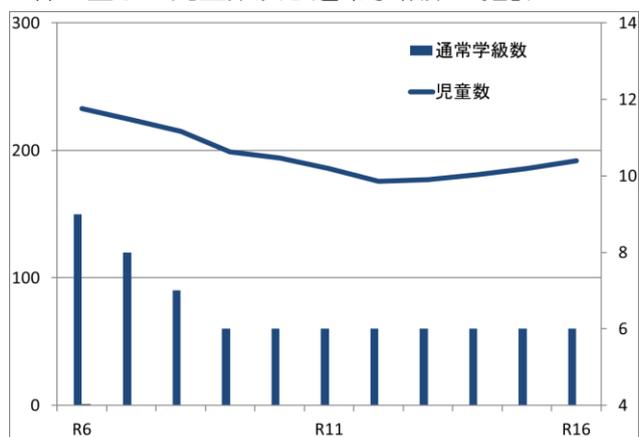
緑園中 生徒数及び通常学級数の推計



開西小 児童数及び通常学級数の推計



森の里小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和6年度)

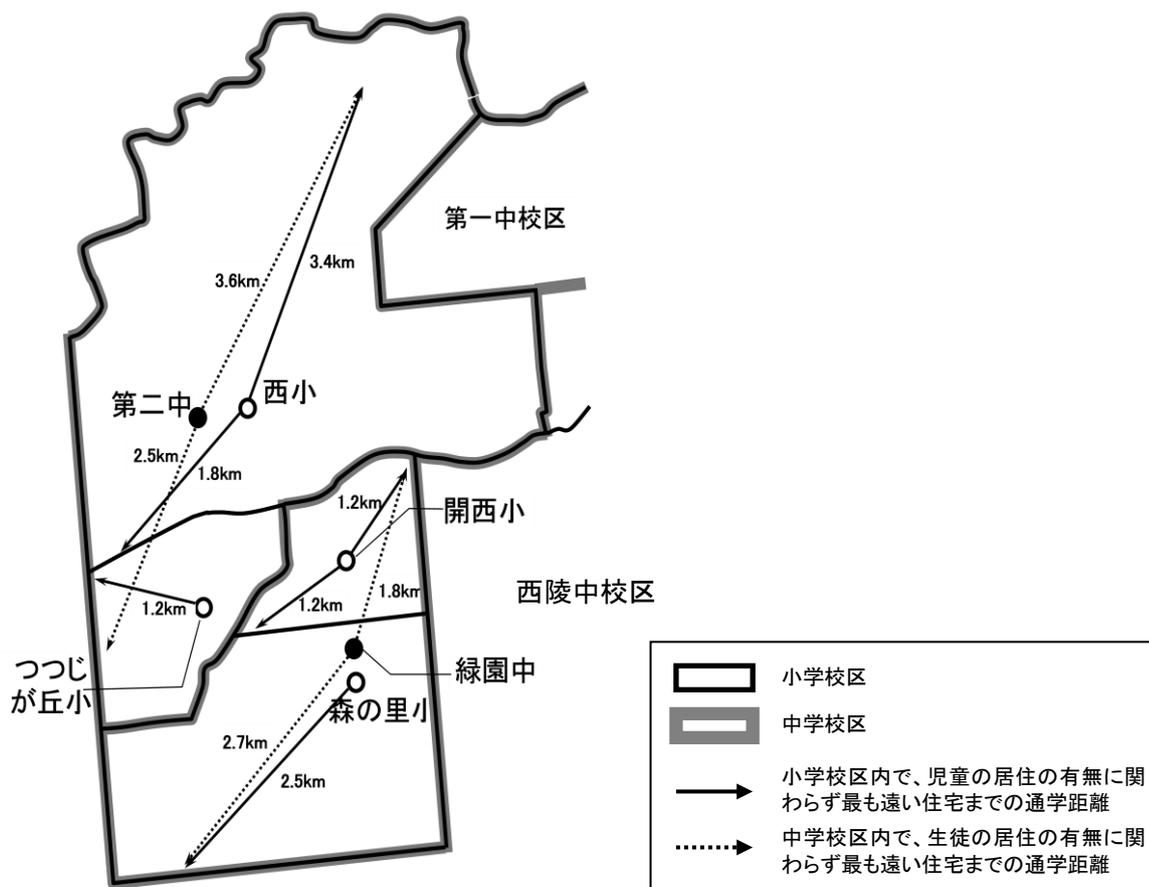
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
第二中	13	1	6	0	1	1	22
西小	9	2	6	0	1	1	19
つつじが丘小	10	1	9	0	1	1	22
緑園中	16	3	6	1	1	1	28
開西小	12	1	5	0	1	1	20
森の里小	11	3	9	0	1	1	25

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。



(5) 学校と町内会の関係

(令和6年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第二中	西小	西11号つくし、西帯広親睦、西帯広中央、津田の森、西帯広南町、道営ひまわり、西14号団地、十五号、西13号、あけぼの、西の森、ヒルデス25、西交友、32区共正	西帯広連合町内会（一部）
	つつじが丘小	三条高校西、みすみ、柳橋、共愛、タウン24、つつじ24、リバーサイド24、ふれあい、新西、フリートピア25、つつじ、ウエスト25、36区（一部）	西帯広連合町内会（一部）
緑園中	開西小	工栄、西21新興、西21条若菜、開西ひがし、開西35区、開西、開明、緑園西、かえで、おふね、新緑第2団地自治会、のぞみ	西帯広ニュータウン連合町内会（一部）
	森の里小	36区（一部）、ニュータウン自治会、とりで、アルバータ通り、新緑、新緑南、森の里東、開西中央、森の里、西中島通り、星の森、ポテト、ふしこ	西帯広連合町内会（一部） 西帯広ニュータウン連合町内会（一部）

(6) 地域の現状

地区内の2中学校は、生徒数の減少から通常学級9学級を下回る見込みであり、また地区内の4小学校は通常学級12学級を下回っています。

6 南地区

中学校	大空学園義務教育学校 (前期課程)	中学校区内の小学校	大空学園義務教育学校(後期課程)
中学校	南町中学校	中学校区内の小学校	稲田小学校、豊成小学校、(川西小学校の一部)

(1) 学校(学校区)の特徴

大空学園義務教育学校(後期課程)	南帯広住宅団地(大空)開発事業に伴い、第四中から昭和49年に分離新設しました。また、平成6年度に南町中の通学区域を一部変更して編入しました。大空小の小規模化に伴い、生徒数は減少し、通常学級は適正な学校規模の基準を下回る5学級で推移する見込みです。
大空学園義務教育学校(前期課程)	南帯広住宅団地(大空)開発事業に伴い、稲田小から昭和45年に分離新設しました。また、平成6年度に稲田小の通学区域を一部変更して編入しました。児童数は減少傾向にあり、通常学級は適正な学校規模の基準を下回る11学級で推移する見込みです。
南町中	第四中の大規模化解消のため、昭和50年に分離新設しました。清流地区の住宅建設に伴い、当面生徒数は増加するもの、宅地販売終了後は生徒数が減少する見込みですが、通常学級は15学級以上で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、南町中に通学することができます。
稲田小	昭和3年に稲田尋常小学校として開校し、昭和22年川西村立稲田小学校などの改称を経て、昭和32年市町村合併により帯広市立稲田小学校と改称し現在に至っています。児童数は減少しますが、通常学級は13学級以上で推移する見込みです。
豊成小	昭和44年に稲田小から分離新設しました。清流地区の宅地販売終了後、児童数は減少に転じることから通常学級は減少し13学級になる見込みです。平成24年度に通学区域の一部を明星小に編入。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、豊成小に通学することができます。
その他	小学校区を帯広の森通、機関庫の川、稲田町基線などで分けているため、分断されている単位町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計(令和6年5月1日現在)

コーホート変化率法による推計

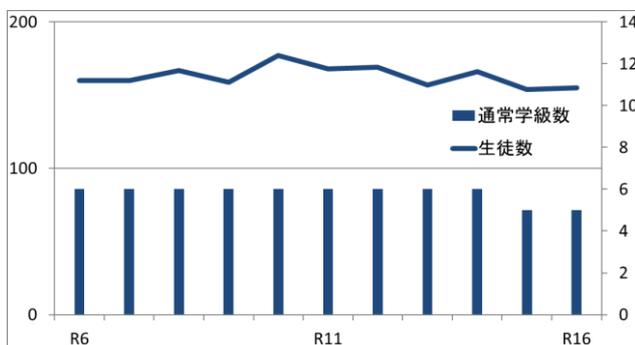
(単位:人・学級)

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
大空 学園 (後期)	生徒数	160	160	167	159	177	168	169	157	166	154	155
	うち通常学級生徒数	137	138	146	143	159	151	152	141	149	138	139
	うち特別支援生徒数	23	22	21	16	18	17	17	16	17	16	16
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大空 学園 (前期)	児童数	332	334	334	325	312	305	304	313	315	336	339
	うち通常学級児童数	272	275	278	273	262	264	264	272	274	292	294
	うち特別支援児童数	60	59	56	52	50	41	40	41	41	44	45
	学級数	20	20	20	18	18	17	17	17	17	18	18
	うち通常学級数	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11
	うち特別支援学級数	8	8	8	7	7	6	6	6	6	7	7

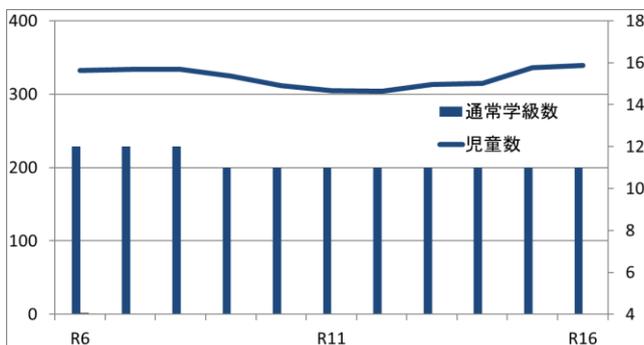
学校名	区 分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
南町中	生徒数	630	662	628	617	613	605	597	556	558	555	532	
	うち通常学級生徒数	578	609	573	555	552	545	537	502	502	499	480	
	うち特別支援生徒数	52	53	55	62	61	60	60	54	56	56	52	
	学級数	23	25	24	26	24	24	24	24	22	23	23	22
	うち通常学級数	16	18	16	17	16	16	16	16	15	15	15	15
	うち特別支援学級数	7	7	8	9	8	8	8	8	7	8	8	7
稲田小	児童数	547	512	497	488	472	444	443	459	470	483	492	
	うち通常学級児童数	488	453	444	431	415	389	385	400	409	419	426	
	うち特別支援児童数	59	59	53	57	57	55	58	59	61	64	66	
	学級数	26	25	23	23	22	21	21	22	22	24	25	
	うち通常学級数	18	17	16	15	14	13	13	14	14	15	16	
	うち特別支援学級数	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8	9	9
豊成小	児童数	598	588	573	523	521	503	486	442	430	422	427	
	うち通常学級児童数	540	528	513	464	466	444	423	382	372	368	371	
	うち特別支援児童数	58	60	60	59	55	59	63	60	58	54	56	
	学級数	28	28	27	25	24	24	24	22	21	21	21	
	うち通常学級数	19	19	18	16	15	15	15	14	13	13	13	
	うち特別支援学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8

【参考】

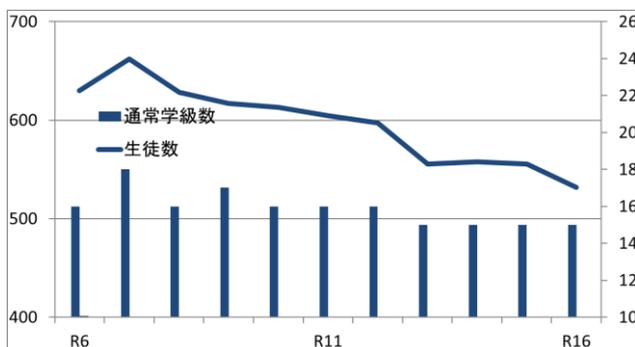
大空学園（後期） 生徒数及び通常学級数の推計



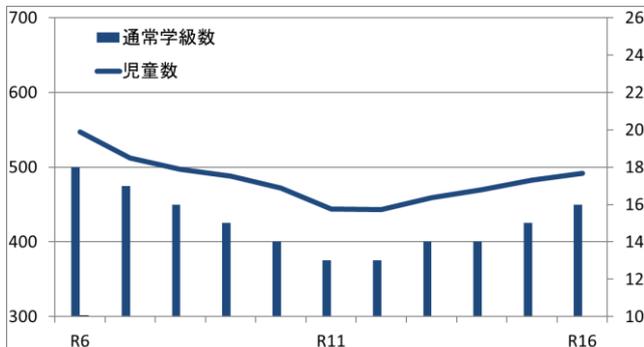
大空学園（前期） 児童数及び通常学級数の推計



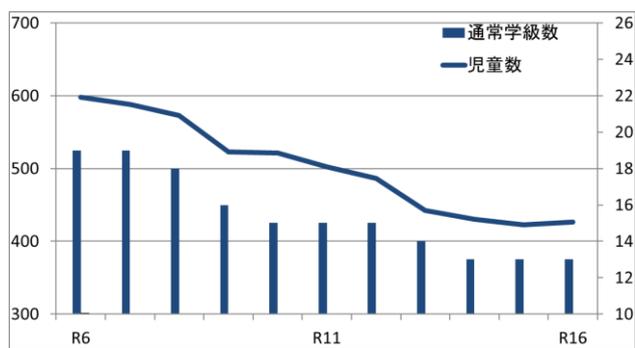
南町中 生徒数及び通常学級数の推計



稲田小 児童数及び通常学級数の推計



豊成小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (令和6年度)

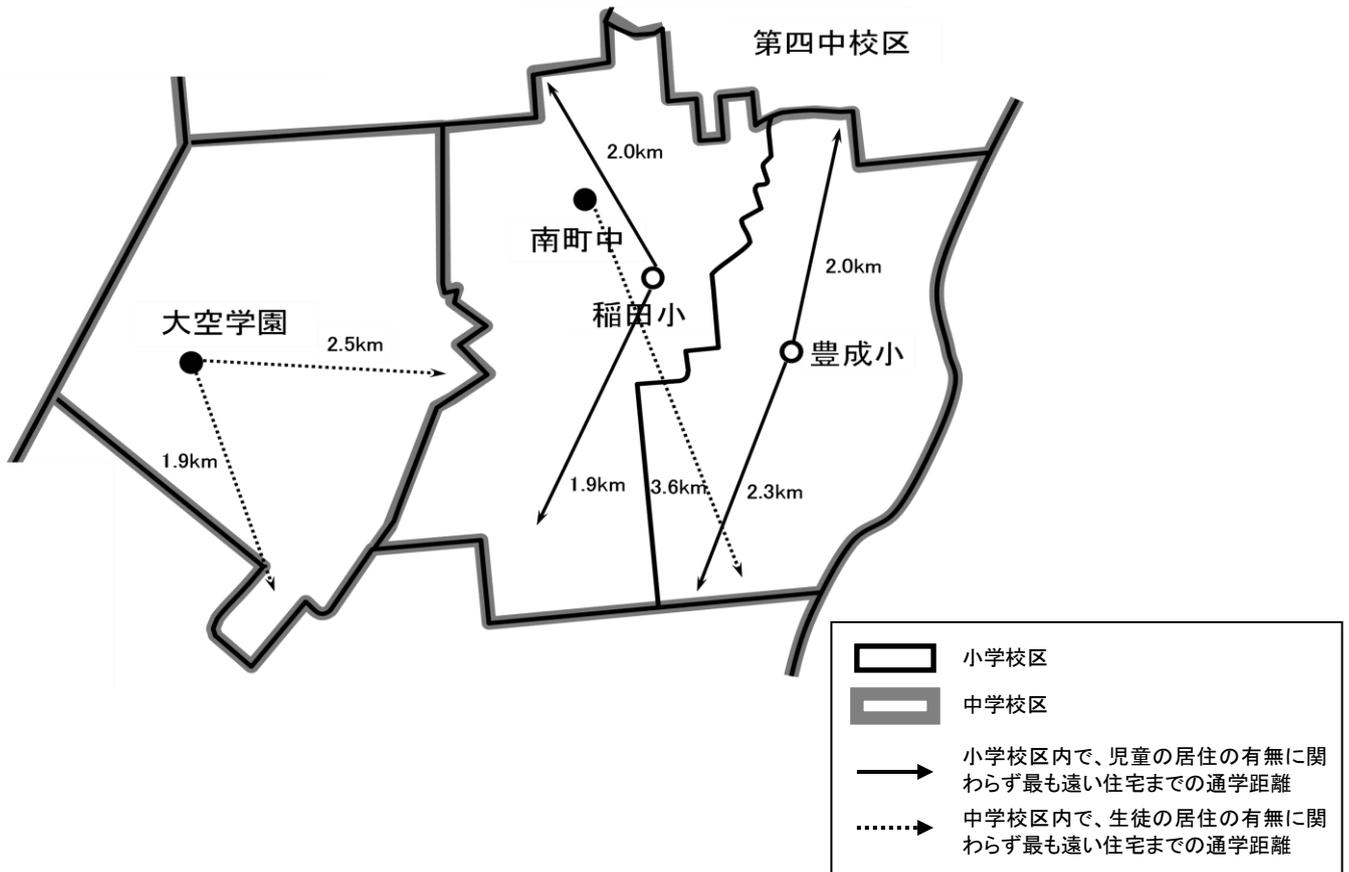
(単位:人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
大空学園(後期)	11	5	5	1	1	1	24
大空学園(前期)	15	3	10	0	1	1	30
南町中	25	4.5	8	0	1	2	40.5
稲田小	22	3	10	1	1	1	38
豊成小	23	1	10	0	1	2	37

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。大空学園義務教育学校（後期課程）、南町中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(令和6年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
大空学園義務教育学校（前期）	大空学園義務教育学校（前期）	大空町第1、大空町第2、大空第三、大空町第4、大空町第5、大空町第6、大空町第7、大空町第8、大空町第9、大空町第10、大空町第12、大空町第13、大空第14、大空町第15、大空町第16、大空町第17、大空町第18、大空町第19、大空町第22、大空町第23、大空町第24、大空町第25、大空町第26、大空町第27、大空町第28、大空町第29、大空町第32、大空町第34、大空町第35、大空町第36、大空町第37、大空町第38、大空町第39自治会、大空町第40、大空町第41、大空町第43、大空町第44、ほのぼの（一部）、みなみ野緑親、緑陽高校南、南の森西七、空港第一、帯広の森、南の森暁、拓進（一部）、東別府、帯広刑務所宿舎	大空町連合自治会 南の森連合町内会（一部）
南町中	稲田小	日甜（一部）、緑風、緑山、せせらぎ、松南、豊丘、南町南ヶ丘、公南、自衛隊東宿舎、別府団地、南町中央、東共栄、稲田団地自治会、稲田団地1号棟自治会、大門街（一部）、新栄、栄団地、南栄、善隣、松竹、豊陽、南町南、りんどう、春光、西春光、みなみ野、新弥生、南花園、稲田、ひじり西（一部）、農校前東、進興、みなみ野学園通り、新駒翠、美朝、帯広農	豊成連合町内会（一部） 緑栄連合町内会（一部） 南町連合町内会（一部） 稲田地区連合町内会（一部） 南の森連合町内会（一部）

		業高校、みなみ野北、みなみ野中央、ほのぼの（一部）、拓進（一部）、新南町、南町タウン	
	豊成小	下稲田東、下稲田、南新和、工場前、日甜（一部）、新稲田いずみ、稲田中央、清流の里北、上稲田、ひじり東、ひじり西（一部）、稲豊、清流の里東、清流の里西、清流の里中央、清流まなび野、ぼっぼ橋、機関庫の川公園南、清流ハヤブサ、下川西	豊成連合町内会（一部） 稲田地区連合町内会（一部）

(6) 区域外通学が認められている住所

住所	本来の校区	区域外通学が認められる校区
清流東1～3丁目、清流西1～3丁目	豊成小、南町中	川西小、川西中
清流東4丁目、清流西4丁目	川西小、川西中	豊成小、南町中

(7) 地域の現状

児童生徒の減少のため、大空学園義務教育学校（前期課程）は令和9年度以降通常学級12学級を、大空学園義務教育学校（後期課程）は今後も通常学級9学級を下回る見込みです。

7 農村地域

中学校	第七中学校	中学校区内の小学校	大正小学校、愛国小学校
中学校	川西中学校	中学校区内の小学校	川西小学校、(豊成小学校の一部)
中学校	清川中学校	中学校区内の小学校	清川小学校
中学校	八千代中学校	中学校区内の小学校	広野小学校

(1) 学校(学校区)の特徴

第七中	昭和40年に大正中・愛国中・似平中・上似平中・戸蔭中を統合して開校しました。生徒数の減少傾向が続くものの、通常学級3学級を維持する見込みです。
大正小	昭和47年に旧大正小・旧似平小を統合して開校し、昭和49年泉小と統合し現在に至っています。児童数の減少傾向が続くものの、通常学級6学級で推移する見込みです。
愛国小	明治37年に私立幸震家庭教授所として創立し、大正村立愛国小学校などの改称を経て、昭和32年帯広市立愛国小学校と改称し現在に至っています。また、平成20年10月に小規模特認校に指定し、これまで20名の児童が通学しています(現在7名通学)。児童数は、緩やかに減少となる見込みです。昭和43年度に複式学級となり、翌年度単式学級になりましたが、昭和45年度から複式学級となり、今後も続く見込みです。
川西中	昭和22年に川西村立川西小学校に併置して川西中学校として開校しました、昭和24年別府中と統合、昭和32年帯広市立川西中学校と改称し、昭和54年上帯広中と統合し現在に至っています。清流地区を中心に一時的に生徒数が増加するものの、宅地販売終了後は減少に転じる見込みのため、通常学級は3学級で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、川西中に通学することができます。
川西小	昭和54年に旧川西小・別府小・富士小・上帯広小を統合して開校しました。清流地区を中心に一時的に児童数が増加するものの、宅地販売終了後は減少に転じる見込みのため。通常学級は7学級から6学級で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、川西小に通学することができます。
清川中	昭和22年に川西村立清川小学校に併置して清川中学校として開校しました。昭和26年太平中の一部と統合、昭和32年市町村合併により帯広市立清川中学校と改称し、昭和55年岩内中と統合し現在に至っています。生徒数は、緩やかに減少するものの、通常学級は3学級で推移する見込みです。
清川小	昭和41年に太平小・美栄小・上清川小・旧清川小を統合し開校し、昭和55年岩内小を統合し現在に至っています。また、平成17年10月に小規模特認校に指定し、これまで6名の児童が通学しています(現在0名通学)。児童数は緩やかな減少傾向にあり、3学級で推移する見込みです。
八千代中	昭和27年に旧広野中、旧八千代中を統合して川西村立広野中学校として開校しました、昭和28年川西村立八千代中学校と改称し、昭和32年市町村合併により帯広市立八千代中学校と改称し現在に至っています。生徒数は、一時的に増加するものの、その後減少する見込みです。令和12年に3学級となるものの、それ以降は2学級となる見込みです。
広野小	昭和50年に旧広野小・八千代小・拓成小を統合して開校しました。児童数は、緩やかに減少となる見込みです。昭和59年から複式学級となり、今後も続く見込みです。
学校共通	通学距離が長い為、スクールバスや路線バスを活用し児童生徒の負担の軽減を図っています。
その他	太平町内会や戸蔭町内会を除き単位町内会と学校区が一致しています。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（令和6年5月1日現在）

コーホート変化率法による推計

（単位:人・学級）

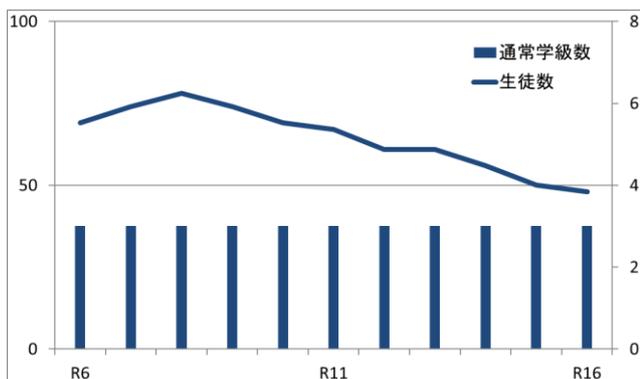
学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第七中	生徒数	69	74	78	74	69	67	61	61	56	50	48
	うち通常学級生徒数	60	66	68	65	61	59	53	53	50	47	45
	うち特別支援生徒数	9	8	10	9	8	8	8	8	6	3	3
	学級数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
大正小	児童数	119	114	110	101	96	81	80	76	73	67	64
	うち通常学級児童数	100	98	93	90	87	74	71	68	66	61	58
	うち特別支援児童数	19	16	17	11	9	7	9	8	7	6	6
	学級数	9	9	9	9	8	7	8	7	7	7	7
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	2	1	2	1	1	1	1
愛国小	児童数	23	23	20	17	19	21	22	22	22	22	19
	うち通常学級児童数	22	22	20	17	18	20	21	21	21	21	19
	うち特別支援児童数	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0
	学級数	4	4	3	3	4	5	4	4	4	4	3
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0
川西中	生徒数	95	113	111	119	118	116	113	100	103	102	100
	うち通常学級生徒数	87	103	99	107	106	105	102	90	92	92	90
	うち特別支援生徒数	8	10	12	12	12	11	11	10	11	10	10
	学級数	5	6	7	7	7	6	6	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2
川西小	児童数	227	216	221	223	213	198	178	176	174	178	177
	うち通常学級児童数	191	182	188	193	183	168	153	151	149	154	154
	うち特別支援児童数	36	34	33	30	30	30	25	25	25	24	23
	学級数	13	12	12	13	12	12	11	11	10	10	10
	うち通常学級数	7	6	7	7	7	7	7	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	6	6	5	6	5	5	4	4	4	4	4
清川中	生徒数	37	31	24	24	21	24	19	17	13	15	18
	うち通常学級生徒数	33	26	21	22	20	22	18	16	13	15	17
	うち特別支援生徒数	4	5	3	2	1	2	1	1	0	0	1
	学級数	5	5	5	4	4	4	4	3	2	3	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	1
清川小	児童数	41	38	37	34	35	31	31	32	32	31	28
	うち通常学級児童数	34	32	33	30	30	27	27	27	27	26	24
	うち特別支援児童数	7	6	4	4	5	4	4	5	5	5	4
	学級数	5	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4
	うち通常学級数	4	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

学校名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
八千代中	生徒数	16	11	11	12	12	15	17	14	11	11	13
	うち通常学級生徒数	15	10	11	12	12	13	15	12	11	11	13
	うち特別支援生徒数	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	0
	学級数	3	3	2	2	2	4	5	4	2	2	2
	うち通常学級数	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2
	うち特別支援学級数	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	0
広野小	児童数	29	26	26	28	27	21	17	19	17	14	13
	うち通常学級児童数	24	21	21	22	21	18	15	17	16	14	13
	うち特別支援児童数	5	5	5	6	6	3	2	2	1	0	0
	学級数	6	5	5	5	5	4	4	4	4	3	3
	うち通常学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0

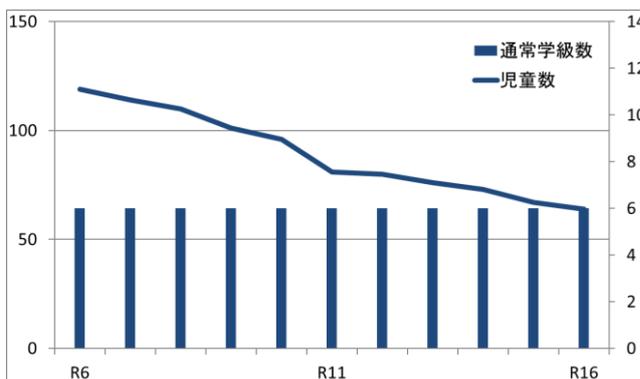
※川西中・川西小以外は、単純進行により推計しています。

【参考】

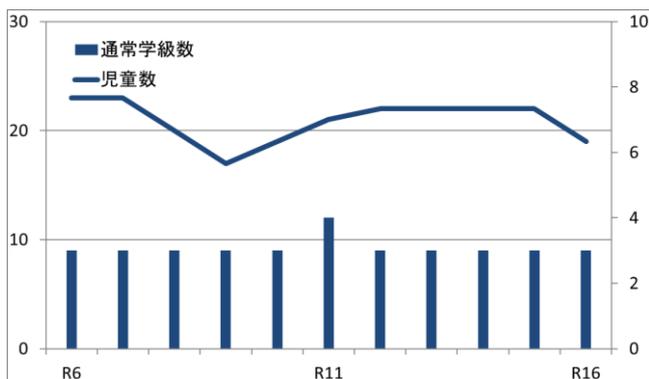
第七中 生徒数及び通常学級数の推計



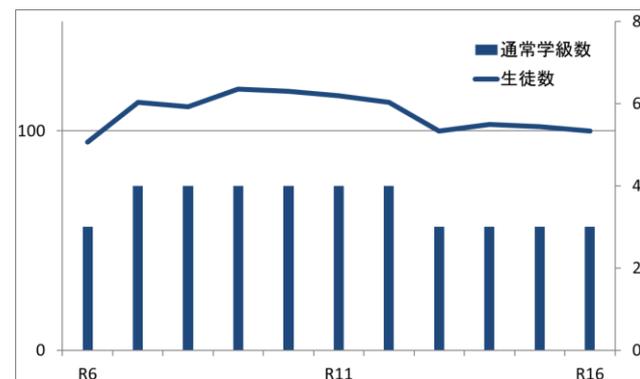
大正小 児童数及び通常学級数の推計



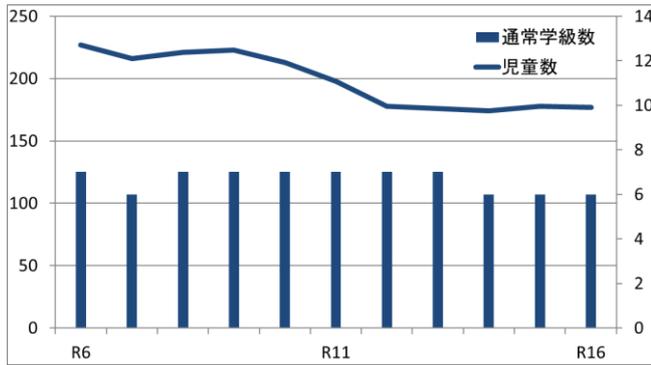
愛国小 児童数及び通常学級数の推計



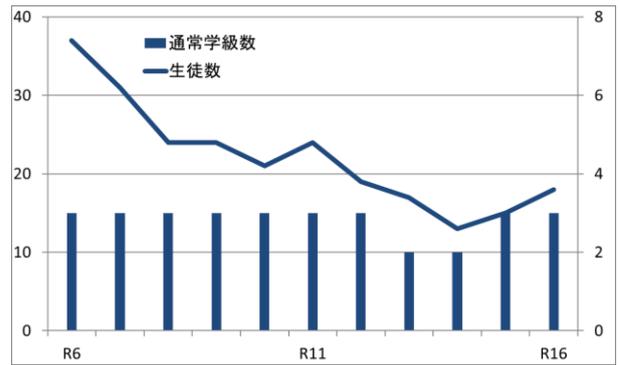
川西中 生徒数及び通常学級数の推計



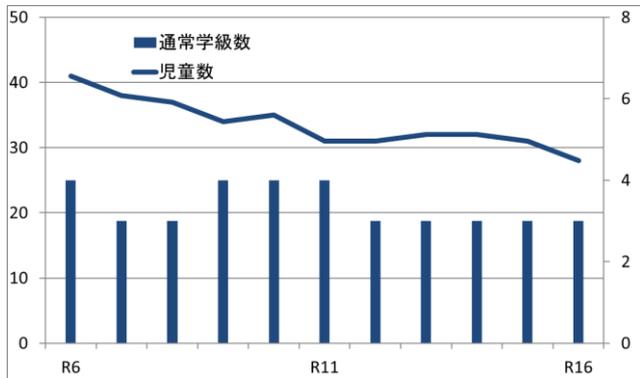
川西小 児童数及び通常学級数の推計



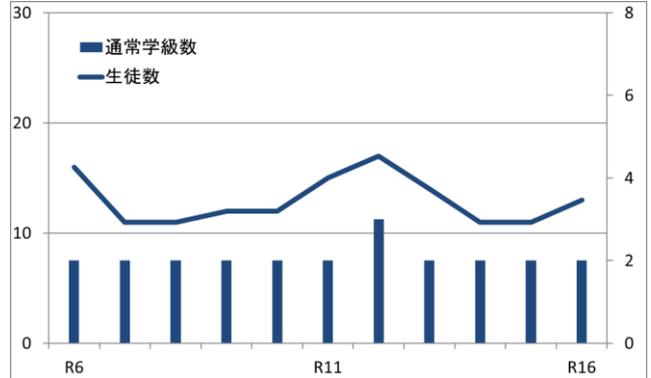
清川中 生徒数及び通常学級数の推計



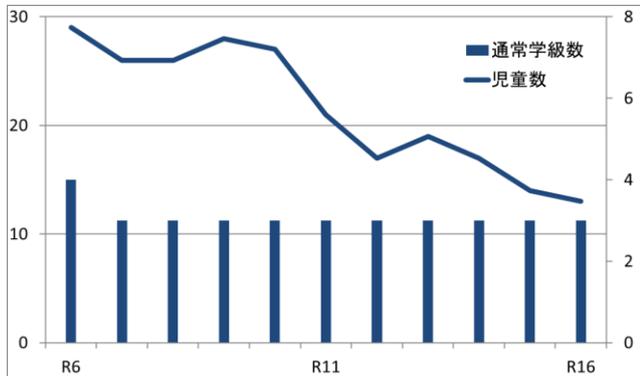
清川小 児童数及び通常学級数の推計



八千代中 生徒数及び通常学級数の推計



広野小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況（令和6年度）

（単位：人）

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
第七中	9	0	4	1	1	15
大正小	8	0	5	1	1	15
愛国小	5	0	1	1	1	8
川西中	9	0	3	1	1	14
川西小	9	1	8	1	1	20
清川中	9	0	3	1	1	14
清川小	6	0	2	1	1	10
八千代中	6	1	1	1	1	10
広野小	6	0	2	1	1	10

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。また、スクールバスの運行や路線バスの利用により通学の負担を軽減しています。大正小、愛国小、川西中、清川中、八千代中、第七中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

（令和6年4月1日現在）

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第七中	大正小	桜木町東、桜木町西、桜木町南、桜木町北、昭和町東、昭和町越前、東和、大正町加賀、大正町幸一、昭和町親幸、大正本町第一、大正本町第二、大正本町第三、大正本町第四、幸福、種苗管理切羽十勝農場、以平東、以平第二、以平第三、睦、中島町戸蔭、中島町中戸蔭、上以平、大和	桜木連合町内会 昭和町連合町内会 大正市街地連合町内会 大正連合町内会 幸福連合町内会 以平連合町内会 中島連合町内会 泉連合町内会
	愛国小	愛国、愛国南、北愛国	愛国町連合町内会
川西中	川西小	川西、北川西、南川西、中川西、新川西、新生、東豊西、西豊西、本豊西、南豊西、別府、中別府、中富士、西富士、東富士、南富士、南基松、北基松、上帯広市街、北上帯広、東上帯広、南上帯広	川西連合町内会 豊西連合町内会 別府連合町内会 富士連合町内会 基松連合町内会 上帯広地域連合町内会

清川中	清川小	東清川、清川、中清川、上清川、日甜清川農場、東美栄、西美栄、太平（一部）、戸蔭（一部）	清川地区連合町内会（一部）
八千代中	広野小	北広野、南広野、広野市街、北八千代、中八千代、八千代、拓成、太平（一部）、戸蔭（一部）	八広地域連合町内会 清川地区連合町内会（一部）

（６）区域外通学が認められている住所

住所	本来の校区	区域外通学が認められる校区
清流東 4 丁目、清流西 4 丁目	川西小、川西中	豊成小、南町中
清流東 1～3 丁目、清流西 1～3 丁目	豊成小、南町中	川西小、川西中

（７）地域の現状

清流地区からの児童数が増加してきた川西小は令和 6 年度にピークを迎え、今後減少する見込みです。また、川西中は令和 12 年度まで生徒数が増加傾向にありますが、その後減少に転じます。川西小・川西中以外の校区では児童生徒数の減少のため、愛国小、広野小、清川小、八千代中のほか、将来的に清川中が新たに複式学級になる見込みです。

意見交換会等の開催状況と主な意見

1 計画骨子案に関する意見交換会等の開催状況

開催日等	対象校	参加者数
令和6年 10月23日(水)	西小学校(保護者)	4名
10月24日(木)	花園小学校(保護者)	6名
10月29日(火)	森の里小学校(保護者)	1名
10月31日(木)	つつじが丘小学校(保護者)	9名
11月 6日(水)	森の里小学校(地域)	6名
11月 7日(木)	西小学校(地域)	8名
11月 8日(金)	東小学校(保護者)	6名
11月11日(月)	東小学校(地域)	34名
11月12日(火)	花園小学校(地域)	8名
11月21日(木)	つつじが丘小学校(地域)	8名
11月26日(火)	清川小学校(保護者)	10名
11月27日(水)	愛国小学校(保護者)	8名
11月28日(木)	清川小学校(地域)	5名
11月29日(金)	愛国小学校(地域)	16名
12月16日(月)	広野小学校・八千代中学校 (保護者)	12名
12月19日(木)	広野小学校・八千代中学校 (地域)	13名

2 計画骨子案に関する意見交換会等が出された主な意見

1 学校の様子について

- 大空学園では小学生と中学生の交流が多く、他の学校では味わえない経験ができると聞き、義務教育学校に興味がある。
- 子どもが複式学級で学んでいるが、今までは1学年に1人先生が付いているが、今は2学年に1人しか先生がいない。複式でも先生が2人付いてくれるといい。
- 学習面や子どもの心のケアにあたる先生の人数が少ないと感じる。
- 子どもが複式学級でお姉さんたちと一緒にいることでやる気があり、学習も進んで取り組んでいる。
- 複式学級で先生方がいろいろと工夫して授業をしてくれている。
- 子どもが少年団活動で他校に行っているが、人数が多い方が友達が多くできると感じている。

2 学校規模によるメリット・デメリットについて

- 小学校のうち1学級でも現状、特に問題はない。複数学級は中学校で経験すればいい。
- 統合して2学級、3学級ある方が、子どもにとって学ぶ環境としてはいいと思うが、通学距離のことを考えると統合は難しいのではないか。
- 小規模校はきめ細やかな指導を受けられる。
- 田舎の学校だったから昔から1学級で育ってきた。田舎の特性を生かしながらみんな元気に成長していけばいいと思う。
- 人数が少ないことで、運動会や学習発表会にも制約が出てきていると感じている。行事を地域住民と一緒にすることも検討してほしい。
- 複式学級を経験したが、人間関係の固定化というデメリットは感じたことがなく、中学校や高校で大人数と関わるので特に問題はない。
- 複数学級がいいという考えはあるが、中学校で複数学級になるので、このまま存続させてほしい。
- 小規模校では手厚い教育が受けられる反面、大人数で行うスポーツができないといったデメリットもある。施設分離型の小中一貫校にすることで、そうしたデメリットを解消でき、地域コミュニティの役割を確保していけるのであれば、それも一つの手だと思う。
- 複式学級でも一定の学力は保たれており、問題はない。

3 適正規模確保等の取り組みについて

- 小規模のままでも統合が難しい地区はリモート等で学校が離れても交流ができる時間を作っていけばいい。
- 拠点となる場所に集まって、そこから統合後の学校にバスで移動すれば、通学距離の問題も解消するのではないか。
- どの学校を統合するのか、地域を束ねる一つのランドデザインを示してほしい。
- 複数の小学校から一つの中学校に進学する場合、特定の小学校だけ進学先の中学校と小中一貫校

にすることもいいのではないか。

- 今後も1学級で推移するが、児童数が大きく減少するわけではないので、このまま維持してほしい。
- 学校は残しつつ、通学区域を変更することで人数の均衡化を図ってほしい。
- 町内会で小学校に通っている子もないぐらい子どもの数が減っている現状では、統合せざるを得ないのではないか。
- 自分は小さな小中学校を卒業したが、子どもたちには仲間が多い状態で育ってほしいので、統合を進めてほしい。
- 今の通学区域は児童が一番多くいたところの区割りのまま。現状の児童数を考慮して区割りを変更した方がいいのではないか。
- 他校との交流の場をもっと増やせば子どもたちにとってもいい刺激になると思う。
- 複数の学校が統合しても適正な学校規模になるわけではないので、難しい。
- 帯広独自のスタイルで、短期間でも他の学校を経験するような取り組みがあればいい。
- 分離型の小中一貫校にできれば、既存の建物でそのままの学校運営ができ、PTA も一つにまとめられる。
- 学校があるから地域に来てくれた人もいるので残してほしい。
- 子どもは人数が多い方が友人が多くできると感じているので、統合して児童数を確保してほしい。
- 管理職の人数を減らして、実際に教育に当たってくれる先生の数を増やしてほしい。
- 同級生が少ないのは不安なので、近隣の学校と統合して大人数がいる中で友人を作ってほしい。
- 小規模校の交流も、一週間ほど集まって集中的に行うことも考えてほしい。
- 他の地域との交流をもっと頻繁に行うことが必要。
- 最低限の人間関係が構築できるシステムは確保できるようにしてほしい。

4 学校と地域の関わりについて

- 学校がなくなるとその地域の活性化が落ちていく。学校の存廃が地域に与える影響は大きい。
- 学校を見守りしていただいているボランティアの担い手が少なくなっている。

5 その他

- もし統合した場合、通学区域が広がるので自転車通学を認めてほしい。
- 統合して通学区域が広がった場合はスクールバスを出さなくてはいけないのではないか。
- 小学校の通学距離の基準が2キロは長い。今の時代不審者等で危険と感じる。
- 校舎の規模が今の児童数に合っていない。できれば小規模の校舎に建て替えてほしい。
- 通学区域が広がると、登下校が大変になるので、通学区域は広げてほしくない。
- 30人以上で1学級だと、教室が狭いと感じる。1学級あたりの人数をもっと少なくしてほしい。
- 学校だけでなく、福祉センターや児童保育センターの施設も含めて地域づくりを考えてほしい。
- スクールバスに小学生が30分以上乗るのは厳しい。
- 1学級の人数を15人程度にしてほしい。

- 適正規模の基準が今の時代に合っていないのではないか。
- 親の意見も大事だが、子どもの意見を一番に尊重してほしい。
- これから通う子どもたちの保護者の意見を汲んでほしいが、地域から学校がなくなるのは寂しい。

教育に関する意識調査結果の概要（抜粋版：学校の規模に関すること）

1 調査の目的

本調査は、市内の児童生徒とその保護者を対象に、学校生活や学校教育全般に関する意識、学校規模、家庭教育、地域とのかかわり、及び小中連携などを調査することにより、今後の学校教育の充実に向けた基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査期間 令和 5 年 10 月 11 日（水） ～令和 5 年 11 月 10 日（金）
- (2) 調査対象、調査方法、回収率等

調査区分	調査対象及び調査方法	依頼数	回収数及び率
小学校調査	市内の小学校 25 校及び義務教育学校 1 校の 5 年生、各 1 学級の児童及びその保護者を対象に、学校を通じて調査依頼し、HARP システムにて調査した。（無記名）	児童：700 通	604 通 回収率：86.3%
		保護者：705 通	307 通 回収率：43.5%
中学校調査	市内の中学校 13 校及び義務教育学校の 2 年生（8 年生）、各 1 学級の生徒及びその保護者を対象に、学校を通じて調査依頼し、HARP システムにて調査した。（無記名）	生徒：425 通	266 通 回収率：62.6%
		保護者：424 通	164 通 回収率：38.7%

3 回答者の属性（児童生徒 問 1・問 2、保護者 問 1～問 4）

調査区分	回答者の属性	
小学校調査	○児童 n=604	男女比： 男子 51.3% 女子 48.7%
	○保護者 n=307	男女比： 男性 10.4% 女性 89.6% 年齢構成：
中学校調査	○生徒 n=266	男女比： 男子 49.6% 女子 50.4%
	○保護者 n=164	男女比： 男性 8.5% 女性 91.5% 年齢構成：

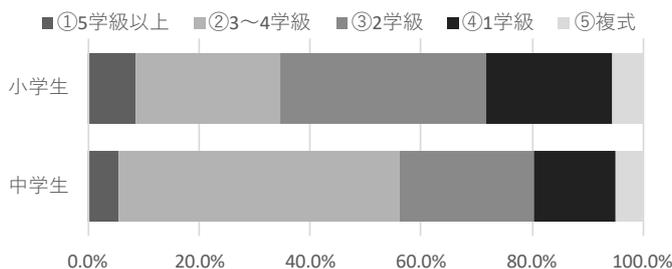
※データ処理について：パーセンテージの算出にあたっては、小数点以下第 2 位を四捨五入していることから、全体合計が 100%にならない場合がある。

4 (1) 児童生徒の結果概要

問9 一学年あたりの学級数はどの程度がよいと考えますか？

問10 その回答理由はなんですか？（複数回答のため合計は100%にはなりません）

回答選択肢	小学生	中学生
①多い方がいい(5学級以上)	8.4%	5.6%
②極端に多くなければいい(3~4学級)	26.3%	50.4%
③クラス替えができればいい(2学級)	36.9%	24.4%
④1学級がいい	22.9%	14.7%
⑤複式学級でもいい	5.5%	4.9%
計	100.0%	100.0%

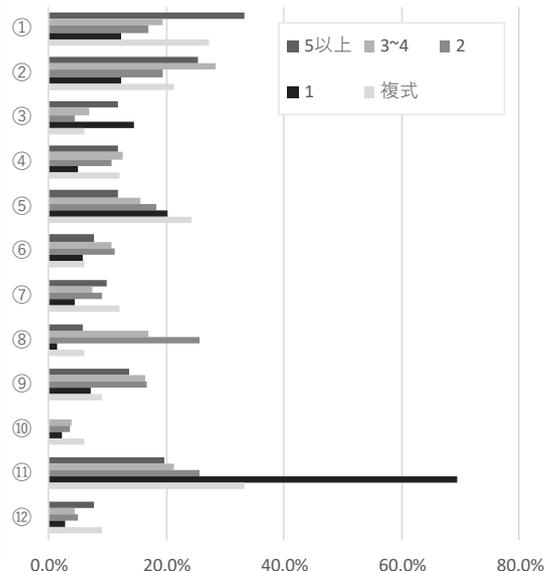


□小学5年生 「クラス替えができればいい(2学級)」が最も多く36.9%、次に「極端に多くなければいい(3~4学級)」が26.3%、「1学級がいい」が22.9%と続く。

□中学2年生 「極端に多くなければいい(3~4学級)」が最も多く50.4%、次に「クラス替えができればいい(2学級)」が24.4%、「1学級がいい」が14.7%と続く。

<小学5年生：どの程度の学級数がよいかの回答理由>

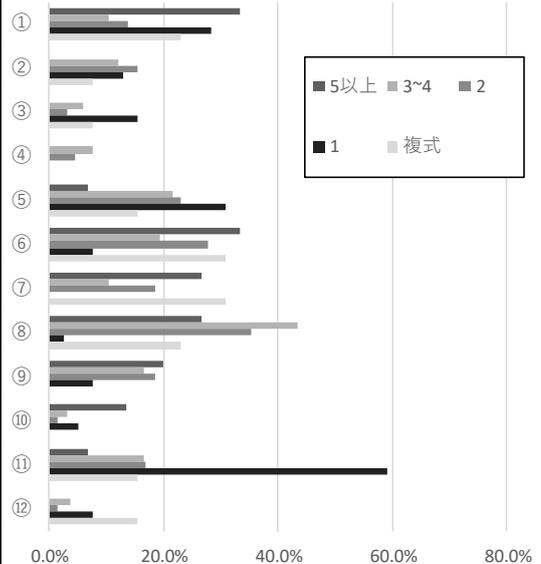
回答選択肢	5以上	3~4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える	33.3%	19.5%	17.0%	12.3%	27.3%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	25.5%	28.3%	19.3%	12.3%	21.2%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	11.8%	6.9%	4.5%	14.5%	6.1%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を使っの授業が受けられる	11.8%	12.6%	10.8%	5.1%	12.1%
⑤クラスの中でまとまりができる	11.8%	15.7%	18.4%	20.3%	24.2%
⑥多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく	7.8%	10.7%	11.2%	5.8%	6.1%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩・後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	9.8%	7.5%	9.0%	4.3%	12.1%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	5.9%	17.0%	25.6%	1.4%	6.1%
⑨仲間と競い合うことで、運動や勉強へのやる気が出る	13.7%	16.4%	16.6%	7.2%	9.1%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	0.0%	3.8%	3.6%	2.2%	6.1%
⑪同じ友だちとずっと一緒にいることができる	19.6%	21.4%	25.6%	69.6%	33.3%
⑫その他	7.8%	4.4%	4.9%	2.9%	9.1%
※回答人数	51	159	223	138	33



5学級	「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」と続く。
3~4学級	「授業などを丁寧に受けられる」が最も多く、次に「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」と続く。
2学級	「学校行事でクラス対抗の種目ができる」「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と続く。
1学級	「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」「家庭的な雰囲気の中で勉強できる」と続く。
複式	「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」「クラスの中でまとまりができる」と続く。

< 中学2年生：どの程度の学級数がよいかの回答理由 >

回答選択肢	5以上	3~4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える	33.3%	10.4%	13.8%	28.2%	23.1%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	0.0%	11.9%	15.4%	12.8%	7.7%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	0.0%	6.0%	3.1%	15.4%	7.7%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を使つての授業が受けられる	0.0%	7.5%	4.6%	0.0%	0.0%
⑤クラスの中でまとまりができる	6.7%	21.6%	23.1%	30.8%	15.4%
⑥多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく	33.3%	19.4%	27.7%	7.7%	30.8%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩・後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	26.7%	10.4%	18.5%	0.0%	30.8%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	26.7%	43.3%	35.4%	2.6%	23.1%
⑨仲間と競い合うことで、運動や勉強へのやる気が出る	20.0%	16.4%	18.5%	7.7%	0.0%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	13.3%	3.0%	1.5%	5.1%	0.0%
⑪同じ友だちとずっと一緒にいることができる	6.7%	16.4%	16.9%	59.0%	15.4%
⑫その他	0.0%	3.7%	1.5%	7.7%	15.4%
※回答人数	15	134	65	39	13



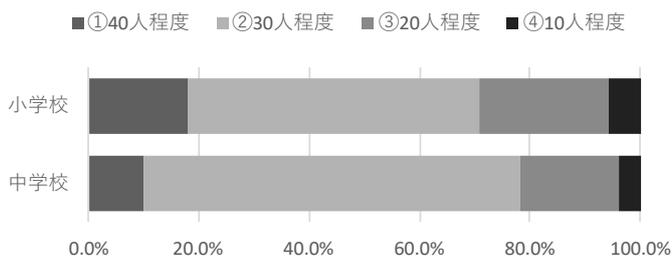
5 学級	「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」が最も多く、次に「刺激があって、友だち関係や先輩、後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」と続く。
3~4 学級	「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」と続く。
2 学級	「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」が最も多く、次に「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」「クラスの中でまとまりができる」と続く。
1 学級	「同じ友だちとずっと一緒にいることができる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が増える」と続く。
複式	「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」「刺激があって、友だち関係や先輩、後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」が最も多く、次に「学校行事等でクラス対抗の種目ができる」と続く。

※複数学級(2学級)以上がよいと考えている人が、小学生では約7割、中学生では約8割となっており、特に中学生では、3~4学級がよいと考えている人が約5割を占めています。また、複数学級以上と回答した児童生徒は、「クラスの中でまとまりができる」や「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」などの回答が多くなっています。

問 11 小中学校の一学級あたりの児童生徒数はどの程度がよいと考えますか？

問 12 その回答理由はなんですか？

回答選択肢	小学校	中学校
①40人程度	18.1%	10.1%
②30人程度	52.8%	68.1%
③20人程度	23.3%	18.0%
④10人程度	5.8%	3.8%
計	100.0%	100.0%

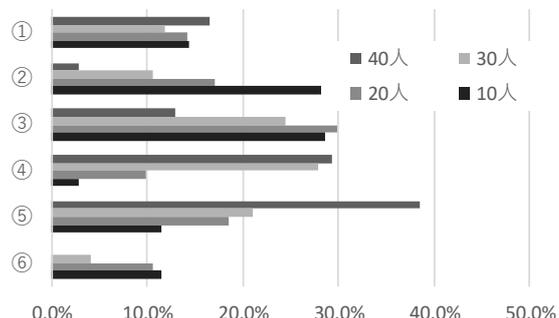


□小学5年生 「30人程度」が最も多く52.8%、次に「20人程度」が23.3%と続く。

□中学2年生 「30人程度」が最も多く68.1%、次に「20人程度」が18.0%と続く。

<小学5年生：一学級あたりの人数の回答理由>

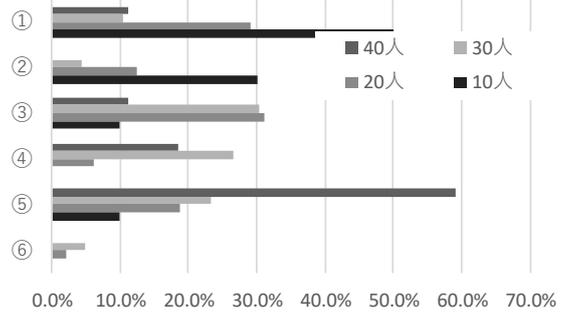
回答選択肢	40人	30人	20人	10人
①学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える	16.5%	11.9%	14.2%	14.3%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	2.8%	10.7%	17.0%	31.4%
③クラスの中でまとまりができる	12.8%	24.4%	29.8%	28.6%
④グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる	29.4%	27.9%	9.9%	2.9%
⑤仲間とのふれあいや刺激がもっと増える	38.5%	21.0%	18.4%	11.4%
⑥その他	0.0%	4.1%	10.7%	11.4%
※回答人数	109	319	141	35



40人程度	「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」が最も多く、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」、「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」と続く。
30人程度	「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」が、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。
20人程度	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く、次に「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」、「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と続く。
10人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」、「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」と続く。

< 中学 2 年生：一学級あたりの人数の回答理由 >

回答選択肢	40人	30人	20人	10人
①学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える	11.1%	10.5%	29.2%	50.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	0.0%	4.4%	12.5%	30.0%
③クラスの中でまとまりができる	11.1%	30.4%	31.3%	10.0%
④グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる	18.5%	26.5%	6.2%	0.0%
⑤仲間とのふれあいや刺激がもっと増える	59.3%	23.2%	18.7%	10.0%
⑥その他	0.0%	5.0%	2.1%	0.0%
※回答人数	27	181	48	10



40人程度	「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」が最も多く、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」、「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」「クラスの中でまとまりができる」が続く。
30人程度	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。
20人程度	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く、次に「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。
10人程度	「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」、「クラスの中でまとまりができる」「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」と続く。

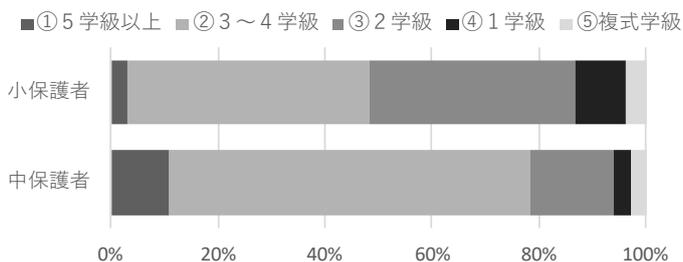
※小中学生とも一学級あたりの人数は、同様の傾向であるが、中学生では、「30人程度」の割合が増加しています。理由については、小中学生ともほぼ同様の傾向となっています。

4 (2) 保護者の結果概要

問 14 一学年あたりの学級数はどの程度の範囲が適当だと思いますか？

問 15 その回答理由はなんですか？（複数回答のため合計は 100%にはなりません）

回答選択肢	小保護者	中保護者
①多い方がいい(5学級以上)	3.0%	11.0%
②極端に多くなければいい(3~4学級)	45.3%	67.1%
③クラス替えができればいい(2学級)	38.4%	15.9%
④1学級がいい	9.4%	3.0%
⑤複式学級でもいい※	3.9%	3.0%
計	100.0%	100.0%

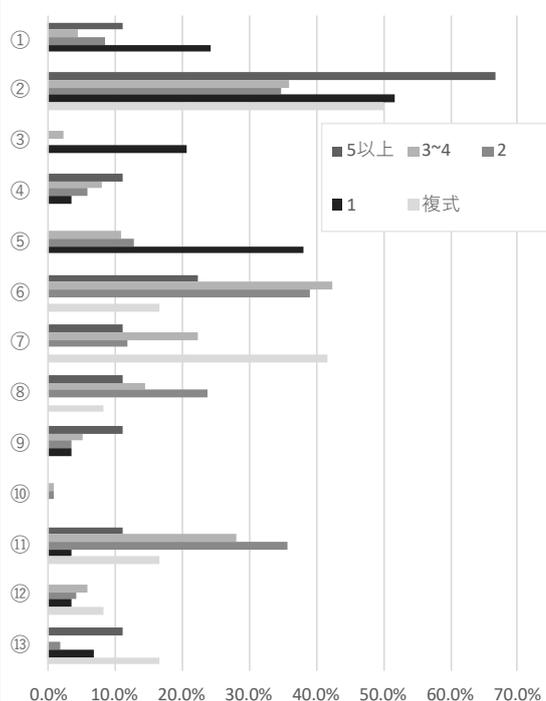


□小学5年生保護者 「極端に多くなければ問題ない(3~4学級)」が最も多く 45.3%、次に「クラス替えができれば問題ない(2学級)」が 38.4%、「1学級がいい」が 9.4%と続く。

□中学2年生保護者 「極端に多くなければ問題ない(3~4学級)」が最も多く 67.1%、次に「クラス替えができれば問題ない(2学級)」が 15.9%、「多い分には問題ない(5学級以上)」が 11.0%と続く。

<小学5年生保護者：どの程度の学級数がよいかの回答理由>

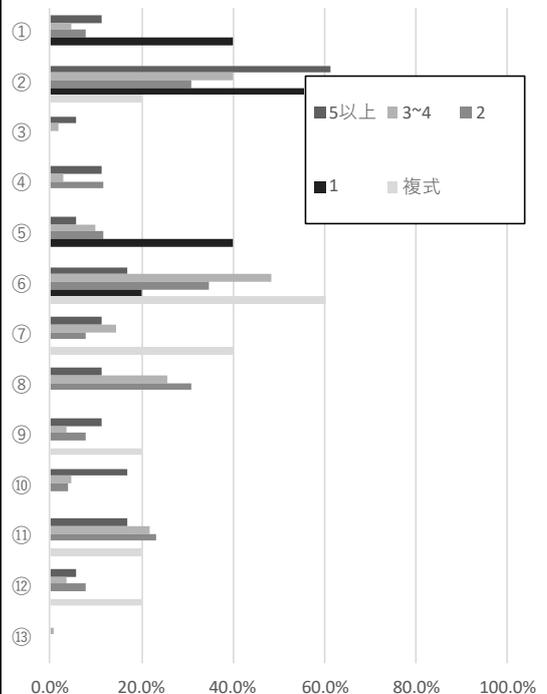
回答選択肢	5以上	3~4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の番や活躍が設けられる	11.1%	4.3%	8.5%	24.1%	0.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	66.7%	36.0%	34.7%	51.7%	50.0%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	0.0%	2.2%	0.0%	20.7%	0.0%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を余裕をもって利用できる	11.1%	7.9%	5.9%	3.4%	0.0%
⑤クラスの中でまとまりができる	0.0%	10.8%	12.7%	37.9%	0.0%
⑥集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく	22.2%	42.4%	39.0%	0.0%	16.7%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	11.1%	22.3%	11.9%	0.0%	41.7%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	11.1%	14.4%	23.7%	0.0%	8.3%
⑨勉強などのへのやる気の向上など教育効果が高まる	11.1%	5.0%	3.4%	3.4%	0.0%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	0.0%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%
⑪友人関係などの固定化がされなくなる	11.1%	28.1%	35.6%	3.4%	16.7%
⑫切磋琢磨する機会が増える	0.0%	5.8%	4.2%	3.4%	8.3%
⑬その他	11.1%	0.0%	1.7%	6.9%	16.7%
※回答人数	9	139	118	29	12



5 学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」と続く。
3～4 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」、「友人関係などの固定化がされなくなる」と続く。
2 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「友人関係などの固定化がされなくなる」、「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と続く。
1 学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「クラスの中でまとまりができる」、「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が設けられる」と続く。
複式	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」と続く。

< 中学2年生保護者：どの程度の学級数がよいかの回答理由 >

回答選択肢	5以上	3～4	2	1	複式
①学習発表会などで一人一人の出番や活躍が設けられる	11.1%	4.5%	7.7%	40.0%	0.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	61.1%	40.0%	30.8%	80.0%	20.0%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	5.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を余裕をもって利用できる	11.1%	2.7%	11.5%	0.0%	0.0%
⑤クラスの中でまとまりができる	5.6%	10.0%	11.5%	40.0%	0.0%
⑥集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく	16.7%	48.2%	34.6%	20.0%	60.0%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	11.1%	14.5%	7.7%	0.0%	40.0%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	11.1%	25.5%	30.8%	0.0%	0.0%
⑨勉強などのへのやる気の向上など教育効果が高まる	11.1%	3.6%	7.7%	0.0%	20.0%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る	16.7%	4.5%	3.8%	0.0%	0.0%
⑪友人関係などの固定化がされなくなる	16.7%	21.8%	23.1%	0.0%	20.0%
⑫切磋琢磨する機会が増える	5.6%	3.6%	7.7%	0.0%	20.0%
⑬その他	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
※回答人数	9	139	118	29	12



5 学級以上	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、次に「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」「少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定されることが減る」「友人関係などの固定化がされなくなる」と続く。
3～4 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」と続く。
2 学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」と続く。

1 学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く、「学習発表会などで一人一人の出番や活躍が設けられる」「クラスの中でまとまりができる」と続く。
複式	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く、「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」と続く。

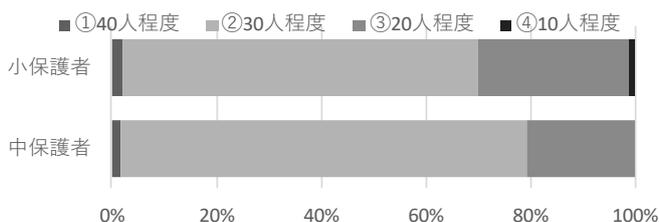
※複数学級（2学級）以上がよいと考えている人が、小中学生保護者とも約9割です。3～4学級がよいと考えている人が中学生保護者では増えています。

また、複数学級以上と回答した保護者は、「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」などの回答割合が多くなっています。

問 17 小中学校の一学級あたりの児童生徒数はどの程度がよいと考えますか？

問 18 その理由はなんですか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①40人程度	2.0%	1.8%
②30人程度	68.0%	77.5%
③20人程度	28.7%	20.7%
④10人程度	1.3%	0.0%
計	100.0%	100.0%

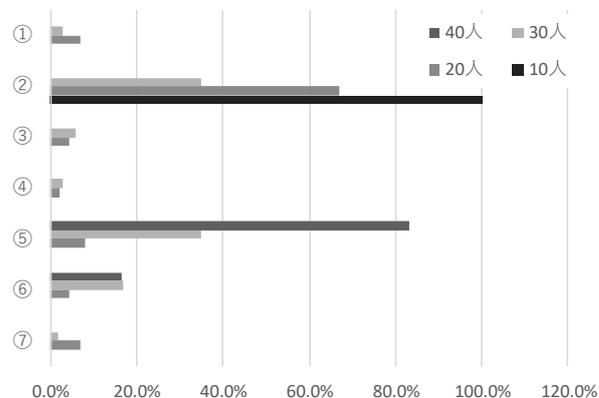


□小学5年生保護者 「30人程度」が最も多く68.0%、次に「20人程度」が28.7%と続く。

□中学2年生保護者 「30人程度」が最も多く77.5%、次に「20人程度」が20.7%と続く。

<小学5年生保護者：一学級あたりの人数の回答理由>

回答選択肢	40人	30人	20人	10人
①学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍の場が増える	0.0%	2.9%	6.8%	0.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	0.0%	34.9%	67.0%	100.0%
③クラスの中でまとまりができる	0.0%	5.7%	4.5%	0.0%
④学校行事や少年団活動・部活動において、児童生徒の一人一人の個別活動を設定しやすい	0.0%	2.9%	2.3%	0.0%
⑤グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる	83.3%	34.9%	8.0%	0.0%
⑥子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要	16.7%	16.7%	4.5%	0.0%
⑦その他	0.0%	1.9%	6.8%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



40人程度	「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」が最も多く83.3%、次に「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が16.7%と続く。
30人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」が最も多く34.9%、次に「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が16.7%と続く。
20人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く79.4%、次に「グループ学習や分担、協力して行う活動など教育方法の幅が広がる」「学習発表会・文化祭などで一人一人の出番や活躍が増える」が5.9%と続く。

※小中学生保護者とも一学級あたりの人数は、同様の傾向であるが、中学生保護者では、「30人程度」の割合が増加しています。理由については、小中学生保護者ともほぼ同様の傾向となっています。